

令和6年度
教育に関する事務の管理、執行の状況
の点検及び評価報告書

令和7年8月
一戸町教育委員会

はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、一戸町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について教育委員会自ら点検及び評価を行った結果を取りまとめたものです。

この報告書を議会に提出するとともに、公表することにより町民への説明責任を果たし、町民に信頼される教育行政を推進してまいりたいと考えております。

また、点検及び評価の方法については今後においても随時不備な点は改善し、結果についてはこれから施策等に反映していくこととし、継続的に事業の改善を図ってまいりたいと考えております。

○根拠

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

○対象

教育振興基本計画の施策に基づき、その状況を点検及び評価の対象とした。

○方法

事業担当課が実施状況等をまとめ、次の4段階による内部評価を実施した。

- A・・・計画以上の成果をあげた
- B・・・達成できた
- C・・・おおむね達成できた
- D・・・達成できなかった

目 次

1. 令和6年度教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員.....	1
(2) 教育委員会議の開催状況.....	1
(3) 教育委員会議議決案件.....	1
(4) 教育委員会議以外の活動状況.....	2
2. 教育委員会事業の点検・評価	
(1) 学校教育課関連事業.....	4
(2) 生涯学習・協働推進課関連事業	
①社会教育事業実施状況.....	22
②スポーツ振興事業実施状況.....	27
③地区センター事業実施状況.....	32
④文化芸術・コミュニティセンター関係事業実施状況.....	48
⑤一戸町立図書館事業実施状況.....	53
(3) 世界遺産課関連事業	
①世界遺産事業実施状況.....	63
②文化財関係事業実施状況.....	66
3. 令和6年度教育に関する事務の管理及び	
執行の状況の点検・評価に関する有識者からの意見.....	69

1. 令和6年度教育委員会の活動状況

(1) 教育委員（令和6年4月1日現在）

役職名	氏 名	就任年月日	現任期
教育長職務代理者	春日川 寛治	平成24年12月25日	令和2年12月25日 ～令和6年12月24日
委 員	徳永 映子	平成29年12月25日	令和3年12月25日 ～令和7年12月24日
委 員	武田 靖子	平成30年4月1日	令和4年4月1日 ～令和8年3月31日
委 員	梅垣 俊輔	平成31年4月1日	令和5年4月1日 ～令和9年3月31日
教育長	中嶋 敦	平成30年4月1日	令和6年4月1日 ～令和9年3月31日

(2) 教育委員会議の開催状況

月 日	議 案	報 告
4月23日	5	0
5月23日	0	0
6月26日	0	0
7月23日	3	0
8月22日	1	0
9月17日	3	0
9月26日	2	0

月 日	議 案	報 告
10月23日	0	0
11月19日	0	0
12月19日	0	1
1月23日	2	0
2月21日	1	0
3月17日	3	0
計	20件	1件

(3) 教育委員会議議決案件

日 付	件 名
R6.4.23	一戸町食育センター運営委員の委嘱に同意を求めることについて
	一戸町育英会評議員の委嘱に同意を求めることについて
	一戸町文化財調査専門委員の委嘱に同意を求めることについて
	御所野縄文公園運営協議会設置要綱の制定について
	一戸町社会教育委員の委嘱に同意を求めることについて

日付	件名
R6.7.23	一戸町立小中学校において令和7年度使用する教科書の採択に関し議決を求めるについて
	教育財産の用途廃止に関し議決を求めるについて
	教育財産の用途廃止に関し議決を求めるについて
R6.8.22	令和5年度教育に関する事務の管理、執行の状況の点検及び評価報告書について
R6.9.17	一戸町教育委員会教育長の辞職につき同意を求めるについて
	財産の取得について（追認）
	財産の取得について（追認）
R6.9.26	人事異動の内申に関し承認を求めるについて
	一戸町立小中学校に就学すべき者の指定に関する規則の一部を改正する規則の制定について
R7.1.23	御所野縄文公園管理運営規則の一部を改正する規則の制定について
	一戸町立学校の廃止に関し議決を求めるについて
R7.2.21	教育財産の用途廃止に関し議決を求めるについて
R7.3.17	令和6年度末職員の定期人事異動の内申に関し承認を求めるについて
	一戸町教育委員会公印規程の一部を改正する訓令の制定について
	教育財産の用途廃止に関し議決を求めるについて

(4) 教育委員会議以外の活動状況

- ・学校訪問等

- | | | |
|----|------------|------------------------------------|
| 4月 | 入学式 | 小学校、中学校、高等学校（北桜高校） |
| 5月 | 学校視察 | 中学校 |
| 3月 | 卒業式
閉校式 | 小学校、中学校、高等学校（北桜高校）
鳥海小学校、小鳥谷小学校 |

- ・総会・研修会

- | | |
|----|--------------------------|
| 5月 | 東北町村教育長連絡協議会定期総会（青森県） |
| | 全国町村教育長定期総会（東京都） |
| | 岩手県市町村教育委員会協議会定期総会（盛岡市） |
| 7月 | 東北六県市町村教育委員会連合会定期総会（山形県） |

10月 教育委員部会研修会（八幡平市）

教育長部会会議（陸前高田市）

・一戸町総合教育会議の開催状況及び会議案件

日付	件名
R 6. 7. 25	・令和6年度教育長施政方針について
	・中学校部活動の地域移行について
R 7. 1. 23	・令和6年度教育長施政方針の取組状況について

2. 教育委員会事業の点検・評価

第2章 学校教育の充実

第1節 幼児教育・義務教育の充実

A : 計画以上の成果をあげた
B : 達成できた
C : おおむね達成できた
D : 達成できなかつた

幼児教育の充実

事 業 名	実 施 状 況	実 績	評価
1. 「幼保小連携」研修事業	<p>町内の認定こども園、保育所、小学校等の教職員による保育体験、授業参観や交流・懇談を通して、幼児教育から初等教育への接続期における望ましい指導のあり方等について研修を深めるとともに、相互の連携を図り一貫性を強化することにより、就学前教育及び小学校教育の振興充実に資する。</p> <p>◆ 「幼保小連携」研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none">・期日：令和7年3月27日（木）・対象：連携する保育施設及び小学校の教職員等・会場：いちのへじょうもんの里こども園・内容：小学校教員による保育体験	<p>【研修会参加人数】</p> <p>① 11名</p>	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<p>○ 当町幼児教育アドバイザーより保育の視点について説明いただき、保育に関する参加者の理解が深まった。</p> <p>○ わずかな時間ではあったが、園児一人一人の特徴を参加者が知ることができた。</p> <p>○ 園での保育の様子を知り、保育者の関わりの工夫を参加者が知ることができた。</p> <p>○ 小学校教員が自分なりに考え、園児と接する様子が見られた。</p> <p>○ 園の様子を知ることで、小学校でも取り入れられることや生かせることを参加者が考えることができた。</p> <p>○ 連携する各園と小学校で連携の在り方を模索し、自主的に研修を行うことにつながっている。</p> <p>● 他校、他園への取組の啓発を今後進めていく。</p>			

自ら学ぶ意欲の育成と基礎学力の向上

事 業 名	実 施 状 況	実 績	評価
2. 学力向上の推進	<p>◆学力向上推進委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内の小中学校の教員の中から学力向上推進委員を委嘱し、基礎学力定着のため調査研究し、一戸町の教育水準の向上と充実に資する。 委員（8名）による学力検査の分析を行い、分析資料のまとめと今後の活用の在り方としての具体例等について検討した。 <p>◆読書推進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 全児童を対象に学年ごとの年間目標読書冊数（低80冊、中60冊、高40冊）を設定し、達成できた児童には報奨品を与えることにより、読書意欲の向上を図っている。 学校司書・図書館業務担当者研修会（年2回） <p>◆図書贈呈事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもが読書などに主体的、意欲的に取り組める環境づくりを進める目的で、町立小・中学校の入学者を対象に図書贈呈事業を実施した。 <p>◆学校図書館の整備充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 蔵書情報の共有化や図書資料の有効活用について、町立図書館と連携を図っている。 <p>◆英語検定、日本語検定、数学検定、漢字検定の検定料の補助</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内の小学生・中学生を対象に、英語検定、日本語検定、数学検定、漢字検定の検定料を年1回に限り補助することで、生徒の英語や漢字、数学の力を高めることに資する。 令和5年度から補助の対象を小学生まで拡大し、対象の検定に漢字検定を加え、受検者数の拡大による児童生徒の学習意欲の向上を図った。 	<p>2回開催</p> <p>目標達成児童数 割合 99%</p> <p>【贈呈者数】 小学校1年生 ：50名 中学校1年生 ：65名</p> <p>一戸小学校 一戸南小学校、 鳥海小学校、 小鳥谷小学校、 奥中山小学校の 5校に学校司書 を配置</p> <p>【延べ受検者数】 補助金利用 102名 自己負担（2 回目の受検等） 11名</p>	B

自ら学ぶ意欲の育成と基礎学力の向上

事 業 名	実 施 状 況	実 績	評価
2. 学力向上の推進	<p>◆土曜学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公営塾が運営主体となり中学3年生の希望者を募り開催し、高校受験に向けた個別の課題の克服を目的として一人ひとりに応じた学習を進める。 	<p>【受講者数】 31名</p>	
3. 諸検査・調査の実施	<p>◆知能検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査対象：小学校2、4学年・中学校1学年 <p>◆学力検査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査対象：小学校全学年・中学校1、2学年 ・検査教科：小学校 国語・算数 中学校1年 国語・数学 中学校2年 国語・数学・社会・理科・英語 <p>◆学習定着度状況調査（実施主体は岩手県）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査対象：小学校5学年・中学校2学年 ・検査教科：小学校 国語・算数・質問紙調査 中学校 国語・数学・質問紙調査 <p>◆全国学力・学習状況調査（実施主体は国）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査対象：小学校6学年・中学校3学年 ・検査教科：小学校 国語・算数・質問紙調査 中学校 国語・数学・質問紙調査 	<p>全検査及び調査を予定どおり実施した。</p>	B
4. 学校支援員の配置	学習面で遅れが見られる児童生徒に対し、きめ細やかな指導を行い、学習内容の理解と定着を図った。	<p>【配置校】</p> <p>一戸小4名 一戸南小2名 鳥海小2名 小鳥谷小1名 奥中山小3名 一戸中2名 奥中山中2名 <u>計16名</u></p>	B
5. 学力向上支援員の配置	児童生徒の基礎学力向上のため、学力向上支援員を配置して指導の強化を図った。	<p>【配置校】</p> <p>一戸中1名 奥中山中1名 <u>計2名</u></p>	B

成果と課題 (○ : 成果、●課題)

- 学力向上の推進については、学力向上推進委員会において各校の課題と参考になる事項等を共有することにより町全体の学力向上の意識をもたせることができた。また、授業と家庭学習の連動や学力調査結果を活用し授業改善を行う等、学校の組織的な取組が進められている。
- 読書推進活動においては目標達成児童数の割合が高く、読書意欲は依然として高い。
- タブレットを活用し、多様な学習活動を展開している。
- 各種検定について、人員体制等の都合から、これまで奥中山会場で実施していた検定を一戸会場のみに統合して実施したところ、奥中山方面の受検者数が伸び悩んだ。令和7年度は奥中山地区の人員体制や会場の調整を行い、可能な範囲で奥中山会場での受験も実施する事で児童生徒への積極的な受検を促していく。

社会の変化に対応した教育の充実

事 業 名	実 施 状 況	実 績	評価
6. 中高生の国際交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度より軽米町との合同により海外派遣事業を行ってきた。 ・平成21年度は新型インフルエンザの世界的な流行等をふまえ実施を見送ったが、平成22年度から再開し、平成25年度からは新たに一戸高校から団員を派遣している。 ・令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止し、令和3年度、4年度は研修地を国内として実施した。 ・令和5年度からは新型コロナウイルスの5類移行を契機にして国内・海外への旅行が民間でも再開されつつあったことから、海外への派遣を再開した。一方で、戦争や円安による経費の高騰から、参加者と日数をコロナ前に比べ縮小して実施した。 ・令和6年度も5年度に引き続き海外への派遣を実施。費用の高騰に伴い中学生の参加者を1名削減して実施した。 <p>研修期間：令和7年1月4日から10日まで 研修場所：アメリカ合衆国 オレゴン州 ポートランド</p>	<p>【参加生徒数】</p> <p>一戸中 3名 奥中山中 2名 北桜高 2名 (軽米中 3名、軽米高 2名)</p>	B
7. 一戸町中学生英語キャンプ事業	<ul style="list-style-type: none"> ・中学1年生を対象とし、外国語指導助手(ALT)との活動や同世代との交流、異文化の見聞、英語を使ったコミュニケーションなどの成功体験による事後の学習意欲の向上が望める事業として実施している。 <p>実施期間：令和6年8月7日から8月8日まで 実施場所：奥中山高原センターhaus</p>	<p>【参加者数】</p> <p>一戸中 3名 奥中山中 4名 ALT 3名</p>	B

社会の変化に対応した教育の充実

事業名	実施状況	実績	評価
8. いちのへ未来会議の実施	<p>・町内中学生が感じる一戸町の未来に関わるテーマについて、町の代表者である町長と意見を交わすことにより、一戸町の将来やまちづくりへの関心を高め、ふるさと「いちのへ」を見直すことで、他に誇れる地域の魅力を自ら見つけ出し、未来につながる具体的な行動を主体的に考え実践できる人材を育成すること目的にいちのへ未来会議を実施した。</p> <p>いちのへ未来会議：令和6年7月8日（月）</p>	<p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一戸中：10名 ・奥中山中：5名 	B

成果と課題（○：成果、●：課題）

- 中高生国際交流派遣事業は、前年度から引き続き物価高・燃料高の影響により参加者数を縮小せざるを得なかつたが、参加生徒たちは充実した研修を行うことができた。
- いちのへ未来会議を通じて、未来につながる具体的な行動を主体的に考え実践できる人材の育成に寄与することができた。また、いちのへ未来会議を実施したことで町の施策に対する生徒の意見を聞く機会とすることができた。
- 海外派遣は航空運賃はじめ各種経費の高騰が続いていることから、派遣規模・内容の見直しは継続して必要である。
- 中学生英語キャンプ事業については、各学校から一定数の参加が見込まれるよう、適切な時期での日程設定と積極的な参加勧奨が必要である。

健康教育の推進

事業名	実施状況	実績	評価
9. 学校保健研究大会	毎年度、健康教育の推進に資するため、一戸町学校保健会との共催により研究大会を開催しており、令和6年度は、第41回の記念大会を、参集型で実施することができた。	参集型の研究大会を実施することができた。	B
10. 表彰関係	令和6年度岩手県学校歯科保健優良校表彰 優良校：一戸南小学校 優秀校：一戸中学校	学校歯科保健優良校表彰において、町内2校が表彰された。	B

成果と課題（○：成果、●：課題）

- 研究大会を実施し、学校や家庭との連携や保健活動の充実を図ることができた。昨年度に引き続き参集型での実施であったが、多くの関係者に参加してもらうことができた。
- 近年、肥満傾向児の出現率が高値となっている状況であるため、行政と学校・家庭との連携を強化し、個別面談等の対応も検討する必要がある。

心の健康問題対策の充実

事 業 名	実 施 状 況	実 績	評 価
11. 生と性を考える学習会	二次性徴による著しい体の変化、それに伴っておこる不安や悩みを軽減するため、町内各中学校の2学年を対象に実施した。	町内中学校2校で実施した。 一戸中学校56人 奥中山中学校18人	B
12. スクールカウンセラー活用事業	学校における教育相談体制の充実や教員の資質向上を図るため、臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有する方をスクールカウンセラーとして配置した。	【配置校】 一戸中学校 奥中山中学校 奥中山小学校 (奥中山地区は1人で兼務)	B
成果と課題 (○ : 成果、● : 課題)			
○ 性教育だけでなく、自分や他者を大切にする人間関係を築くことができた。 ○ スクールカウンセラーは町内に2名配置され、全小中学校をカバーしている。			

第2節 学校、家庭、地域の連携による「地域とともににある学校」づくりの推進

地域の特色を生かした開かれた学校づくり

事 業 名	実 施 状 況	実 績	評 価
13. 学校運営協議会	令和5年度までに、全ての町内小・中学校で設置した。小学校2校の閉校にあたり、統合先の運営協議会において次年度の体制や運営方針について確認した。	全ての町内小・中学校で設置済み。	B
14. 学校へ行こう	開かれた学校づくりを目指し、学校公開を実施することにより、学校の特色を多くの町民に知ってもらう。	4月、11月の2回実施とし、それぞれの学校で授業参観等を行った。	B
成果と課題 (○ : 成果、● : 課題)			
○ 町内の全学校で運営協議会を設置できた。 ○ 「学校へ行こう」を2回実施することができた。			

第3節 特別支援教育の充実

適切な就学指導の推進と特別支援教育の充実

事 業 名	実 施 状 況	実 績	評 価
15. 教育支援委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・総会の開催（委員 20 名） ・専門部会の開催（2回 委員 15 名） 各学校、認定こども園、保育所等からの個別検査の依頼を受け、個別検査の分担と業務の推進を確認した。 個別検査結果を分析し、総合審査会議への提出資料を作成した。 ・総合審査会議では、心身障がい児の総合審査と、教育措置について審議した。 ・総合審査会議で審査できなかった児童生徒については、臨時審査会議を実施して心身障がい児の総合審査と、教育措置について審議した。 	<p>【総合審査人数】</p> <p>就学児：15名 小1～中3：68名</p>	B
16. 学校支援員の配置	知的障がい、軽度発達障がい等児童生徒への対応として、配置している。	<p>【配置校】</p> <p>一戸小4名 一戸南小2名 鳥海小2名 小鳥谷小1名 奥中山小3名 一戸中2名 奥中山中2名 <u>計16名</u> (再掲)</p>	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<p>○ 就学支援については、健康子ども課や認定こども園、保育所等との連携を図りながら、支援を必要とする幼児等の適切な就学に向けた支援ができた。また、学級補助員等の配置により、特別支援学級等に在籍する児童の安全確保ときめ細かな指導を行うことができた。</p> <p>●これまで各学校の教諭が児童生徒の個別検査をする際に使っていた検査方法のWISCⅢは検査用紙が絶版になっており、最新のWISC-Vを使う場合には検査ができる者が限られ、研修を受講することが必須条件となる。児童生徒の検査対象者数が年々増加している中で、検査できる要員をどのように確保するかが課題となっている。</p>			

第4節 小中学校の教育環境の整備充実

学校教育機関の施設・設備の計画的な整備充実

事 業 名	実 施 状 況	実 績	評価
17. 各種修繕工事	小中学校校舎等維持管理のための各種修繕を行う。	各小中学校の要望箇所について確認を行い、計画的に修繕を行った。	B
18. 一戸小学校 トイ レ洋式化 工事	教育環境の改善のため、更新工事を行ったもの。	【工事費】 9,166,000 円	B
19. 一戸中学校 西階段手摺設 置工事	教育環境の改善のため、設置工事を行ったもの。	【工事費】 347,600 円	B
20. 一戸中学校 3階女子トイ レ入口段差解 消スロープ設 置工事	教育環境の改善のため、設置工事を行ったもの。	【工事費】 61,600 円	B
21. 奥中山中学校 ストーブ設置 工事	経年劣化により、更新工事を行ったもの。	【工事費】 846,560 円	B
22. 奥中山中学校 廊下手摺設置 工事	教育環境の改善のため、設置工事を行ったもの。	【工事費】 1,276,000 円	B
23. 理科教育設備 整備費等補助金 (国庫補助事業)	小学校2校、中学校1校を対象に、理科、算数・数学設備について次のとおり備品を整備した。 ・生物顕微鏡 ・たい積実験器、プログラミングスイッチ ・実験用具、人体の構造模型、標本	【整備額】 ・小学校 640,400 円（補助 293 千円） ・中学校 448,580 円（補助 205 千円）	B
24. 教材備品整備	全学校を対象に教材備品を整備した。	【整備額】 ・小学校 1,418,255 円 ・中学校 457,864 円	B

成果と課題 (○ : 成果、● : 課題)

- 大規模改修を含めた各種修繕等を計画的に行い、安全な学習環境の整備が図られた。
- 理科、算数・数学設備備品を購入することにより、学習に必要な教材、設備を整備した。

校外学習の輸送手段の整備

事業名	実施状況	実績	評価
25. スクールバス運行管理	引き続き8台のスクールバスを町内のタクシー会社へ運行委託し、児童生徒の登下校及び校外活動等へ事故無く運行できた。	スクールバス 8台	B

成果と課題 (○ : 成果、● : 課題)

- 各学校の児童生徒数に合わせてスクールバスを運行できた。

安全指導体制の確立と安全管理の徹底

事業名	実施状況	実績	評価
26. 災害共済給付事業	学校の管理下における児童生徒の傷害等に対する掛金を負担し、災害時における医療費等の自己負担分を給付した。	<ul style="list-style-type: none"> ・給付件数：44件 ・給付額 207,796円 	B

成果と課題 (○ : 成果、● : 課題)

- 全児童生徒加入により、学校管理下での傷害等に対し、金銭的給付を行い、保護者の負担軽減を図った。

安全・防災に関わる連携強化と実践活動の充実

事業名	実施状況	実績	評価
27. 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	<p>地域との連携を重視し、地域のボランティアを活用するなど地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備し、安全で安心できる学校が確立されるよう取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードリーダーによる学校の巡回指導 ・一戸町交通指導隊長をスクールガードリーダーに委嘱し、町内小学校の登下校時に巡回指導を実施。 ・学校安全ボランティア（スクールガード）養成講習会 二戸警察署より講師を招き講演会を実施。 実施日：令和6年11月21日（木） 場 所：一戸地区センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童及び生徒が巻き込まれる事件事故を未然に防止することができた。 	B

成果と課題（○：成果、●：課題）

- 全校のスクールガードを集め養成講習会を行った。スクールガード同士の児童生徒の登下校時の危険な状況や危険箇所等の情報交換の機会となった。
- 人口減少、高齢化にともないスクールガードの担い手が減少している。従来の活動ではスクールガードの負担が大きい。活動方法の見直しが必要。

健康管理体制の見直しと推進

事 業 名	実 施 状 況	実 績	評価
28. 学校健康管理事業	<p>児童生徒が心身ともに健康であるために、毎年定期健康診断を実施し、疾病異常の早期発見、早期治療に努めている。また、教職員の健康管理にも努め、健康診断の結果に基づいて適切な事後措置を講ずるため、町内全学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を委嘱した。</p> <p>昨年度に引き続き、フッ化物洗口を実施する学校に対し薬剤等購入に係る経費を全額負担した。また、平成28年度から必須検診項目となった運動器検診については、引き続き内科検診及び就学時健診時に実施した。</p>	<p>児童生徒及び教職員の各種健康診断について、適切に実施した。</p>	B

成果と課題（○：成果、●：課題）

- 各種健康診断の結果に基づいた事後指導に努めるとともに、学校、保護者、学校医との連携を深めた。
- 肥満傾向児への対応について各小中学校養護教諭と連携を図る。

第5節 学校給食の充実

食育の推進

事 業 名	実 施 状 況	実 績	評価
29. 学校給食	<ul style="list-style-type: none"> ・1食給食単価 小学校 245円・中学校 274円 (児童生徒の給食費はそれぞれ56円を減額) ・給食日数及び食数 小学校：178日 76,186食 (盛岡みたけ支援学校分含む) 中学校：183日 53,448食 (盛岡みたけ支援学校分含む) その他：197日 3,517食 	<p>児童生徒の給食における牛乳代分(56円)を教育委員会(町)が負担し、食育に寄与した。</p>	B

食育の推進

事業名	実施状況	実績	評価
30. 学校訪問指導等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問による食育の指導 ・献立表・食育だより・献立カレンダーによる食に関する情報の提供（月1回） 	学校訪問による食育指導を29回実施した。	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ 栄養バランスの取れた食事内容となるよう工夫し、衛生管理の徹底や食物アレルギー対応給食に応対するなど、安全でおいしい給食の提供ができた。 ○ 学校訪問指導について、昨年度と同数実施し、「栄養バランスのとれた食事を考える」指導で児童・生徒が考えた献立を実際の給食に取り入れた。			

学校給食の内容改善の促進

事業名	実施状況	実績	評価
31. アレルギー対応	<p>「一戸町アレルギー疾患対応指針」の改定を行い、現状に即した内容を追記した（対応内容は変更なし）。</p> <p>詳細献立を作成し、学校へ配布した。詳細献立をもとに保護者等の指示もしくは児童生徒自身の判断で原因食物を除去して食べられる場合は給食を提供し、それが難しい場合は弁当対応とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象児童生徒数：22名 うち、弁当対応 3名 	アレルギーを持つ児童生徒に対し、安全な給食を提供することができた。	B
32. 地元農産物の活用	<p>◆安全・安心な給食を提供するため、地元農畜産物を給食に使用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米：いわてっこ（町内産） ・野菜・果物類：サラダボウル・こずやを中心に町内産の野菜・果物を購入し使用した。 ・牛乳：奥中山高原農協乳業の牛乳を使用した。 <p>◆県産品である豚肉・鶏肉・短角牛などの肉類や、野菜類、海藻類、雑穀類を使用した。</p> <p>◆地元企業を活用する観点から、町内にある福祉施設「カナン牧場」のパンを月1回程度提供した。</p>	<p>◆取り入れた町内産食材</p> <p>米、きゅうり、大根、ねぎ、ピーマン、りんご、牛乳、ヨーグルト、奥中山高原牛</p>	B
33. 給食の活用	・昨年に引き続き「御所野縄文給食」を実施した。（いなきびごはん、山菜ときのこのすまし汁、鮭のえごま味噌焼き、ひじきの炒め煮、栗とさつまいものタルト）	10/22 721食を提供。	B

成果と課題 (○ : 成果、● : 課題)

- アレルギー対応について、アレルギー疾患の状態と管理における共通理解が図られ、アレルギーを持つ児童生徒に対し、安全な給食を提供することができた。また、給食の活用においては、学校給食を通して、縄文時代の食生活を学ぶ機会を提供することができた。
- 地元農産物の活用において、献立にあわせた野菜の納入時期の確保、冬場の供給確保が課題。

第6節 教育に関わる経済的負担の軽減、就学援助・通学対策等の充実

総合的な通学対策の推進

事 業 名	実 施 状 況	実 績	評価
34. 遠距離通学費補助	<p>(スクールバス以外の)路線バスまたは徒歩等により通学している児童生徒に対して通学費(定期券等)を支給している。</p> <p>通学距離規定に満たない場合でも、保護者の要望や状況等により支給対象とし補助を行った。</p>	<p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 : 47名 ・中学校 : 69名 <p>【支給額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 3,245,465円 ・中学校 4,121,880円 	B

成果と課題 (○ : 成果、● : 課題)

- 通学距離規定に満たない場合でも、保護者の要望や状況により支給対象とし補助を行った。
- 今後、人口減少に伴う学校の統廃合が進んだ場合、定期路線バス等の公共交通機関が運行していない地区から通学となる可能性があり、通学方法の対応が必要となる。

小・中学校の適正配置と就学区域の弾力化の推進

事 業 名	実 施 状 況	実 績	評価
35. 学区外、区域外就学の許可	<ul style="list-style-type: none"> ・転居により就学校が変更する場合や特別支援学級への就学を希望する場合など、保護者の申請により要綱に基づき学区外就学を認めている。 ・区域外就学も保護者の申請により年度途中の転出入や通学距離を考慮し、該当市町村と協議のうえ認めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学区外就学 新規申請 5件 継続 : 10 件 ・区域外就学 新規申請 4件 継続 : 2 件 	B

成果と課題 (○ : 成果、● : 課題)

- 児童生徒の教育環境や通学に配慮し、対応した。
- 制度や手続き方法について、ホームページ等で周知する。

その他で担当している業務分

事 業 名	実 施 状 況	実 績	評価
36. 要保護、準要保護児童生徒就学援助費	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して必要な援助を行った。 ・学校を通じ、家庭の収入状況が減少した場合も随時申請を受付し、切れ目の無い支援を行った。 ・年度途中の認定についても切れ目無く支給費目について支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校 要保護：0名 準要保護：37名 支給総額 2,669,769円 ・中学校 要保護：2名 準要保護：28名 支給総額 4,136,738円 	B
37. 教科書無償給与	<ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校へ教科書の無償給与を行った。 ・一般図書や拡大教科書等の給与は需要がないために行われなかつた。 	<p>【給与総数 (転学用含む)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 3,879冊 ・中学校 2,079冊 	B
38. 部活動指導員の配置	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に部活動の在り方についての議論が進む中、学校教育活動の一層の充実と教員の「働き方改革」の実現を図ることを目的に実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一戸中学校 剣道部1名 バレーボール1名 陸上1名 ・奥中山中学校 特設スキーパー2名 	B
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 無償給与される小中学校の教科書について、遗漏なく事務を進めることができた。 ○ 中学校2校に部活動指導員を配置し、教職員の負担軽減を図ることができた。 ● 文化部の指導員の人員確保。 			

第7節 教職員の資質の向上

教員研修の充実

事 業 名	実 施 状 況	実 績	評価
39. 学級経営研修会	<p>学級担任及び管理職を対象に、望ましい人間関係づくりを促進する学級経営の在り方について研修を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象：小中学校 ・期日：令和6年7月29日（月） ・会場：一戸町コミュニティセンター ・内容：講義・演習（事例検討） 講義「Q-Uを用いた学級経営事例検討（K-13法）の実際」 	町内各校から担任参加	B
40. 校長管外視察研修	<p>管外の先進校において、新しい教育課題の指導実践等視察を行い、学校経営の向上に資する。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象：教育委員会事務局 ・期日：令和6年11月25日（月）～26日（火） ・視察先：宮城県岩沼市立岩沼南小学校、岩沼市立岩沼北中学校 ・研修内容 <ul style="list-style-type: none"> ① I C T を活用した個別最適な学びと協働的な学びについて ②生成A I を活用した校務の改善について 	町内各校から校長 計7名、教育委員会 事務局から1名参加	B
41. 副校長管外視察研修	<p>管外の先進校において、新しい教育課題の指導実践等視察を行い、指導力の向上に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象：町内小・中学校副校长 ・期日：令和6年11月12日（火） ・視察先：法務少年支援センターいわて（盛岡少年鑑別所） 株式会社 デジアイズ（奥州市） ・研修内容 <ul style="list-style-type: none"> ①少年の更生や非行防止への理解の向上 ②生徒指導に係るマネジメントへの活用 ③職員のキャリア支援のためのマネジメントスキルの向上 	町内各校から副校 長計7名参加	B
42. 教務主任研修会	<p>町内小中学校の教務主任を対象に、研究協議等を通じて教務主任の在り方や教育課程の進行管理等について研修を深め、指導力の向上に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日：令和7年2月26日（水） ・会場：一戸地区センター 	例年どおり開催した。	B

教員研修の充実

事業名	実施状況	実績	評価
43. 小中合同研修会	<p>小学校・中学校の連携を強化し、児童生徒の健全育成や学力向上に関する研究・研修を行い、教育水準の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施区域：一戸中学校区・奥中山中学校区 	例年通り開催した。	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級経営研修会は会津大学文化研究センター教授の苅間澤勇人氏からQ-Uを活用した事例検討等の講義を頂き、今後の学級経営の充実に資することができた。 ○ 校長並びに副校長管外視察研修を実施し、管外の教育事情や、生徒指導のための取り組みを学ぶことができた。その他の研修は予定どおり実施することができ、各学校の諸課題や情報交換を通じて所期の研修目的が達成できた。 			

生きる力を育む教育の研究と実践

事業名	実施状況	実績	評価
44. 総合的学習事業	<p>「総合的な学習の時間」において、児童生徒に「生きる力」を培うために、町内小中学校独自の研究を推進し、望ましい支援のあり方や資料等の整備充実を図り、一戸町の教育水準の向上に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象校：小中学校全校 	全小中学校が実施した。	B
45. いちのへ御所野縄文文化事業	<p>御所野縄文文化について探究的に学ぶ教育実践の充実を図ることを通して、主体的・対話的・探究的に学ぶ力を育むとともに、地域を愛し、「ふるさと」である一戸を誇りに思う児童生徒の育成に資する。（全小中学校対象）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いちのへ御所野縄文学事業推進委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ①令和6年6月27日 世界遺産出前授業見学 ②令和6年7月26日 転入教職員対象 ③令和7年2月7日 實践交流会・各校による発表等（※感染症拡大のため、事務局判断により中止） ・世界遺産学習連絡協議会への加盟 <p>趣旨：世界遺産や地域の文化遺産、自然環境などESD（持続可能な開発のための教育）に関する優れた実践活動の交流を通して、それぞれの地域の取組を発信し合い、互いに学び合うことで生まれ育った地域に誇りを持ち、持続可能な社会の担い手としての意欲や態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全小中学校が実施した。 ・各校において特色ある取組を実施した。 	B

成果と課題 (○ : 成果、● : 課題)

- 総合的な学習では、各学校や地域の特色を踏まえた学校独自の課題を設定し、計画的に調査研究を進めることができた。

学校の実態を生かした教育の充実

事 業 名	実 施 状 況	実 績	評 価
46. 研究指定校等研究事業	<p>町内の小中学校の研究指定校並びに研究実践校等の研究や実践の推進を図り、教育水準の向上に資する。</p> <p>◆学校公開研究会 令和6年度は一戸町において実施なし。</p> <p>◆特色ある学校づくり推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一戸小学校 地域に学ぶことで、本校の教育目標に掲げる「知・徳・体のバランスのとれた人間育成」の実現を図る。 ・一戸南小学校 「自ら考え、共に高め合う子どもの育成」 ・鳥海小学校 「自らかかわり学びゆく子どもが育つ授業～「目的意識」を大切にした算数科指導を通して～」 ・小鳥谷小学校 「自ら考え、進んで考えを表現する児童の育成」 ・奥中山小学校 「主体的・対話的で深い学びをする子どもの育成」 －「考えるための技法」を活用した授業づくりを通して－ ・一戸中学校 「学び合いの中で自分の考えを表現できる生徒の育成」 ～ＩＣＴの活用を通して～ ・奥中山中学校 「情報活用能力を育成するため、様々な学習場面でのＩＣＴの効果的な活用のあり方を研究する」 	<p>全小中学校が実施した。</p>	B

成果と課題 (○ : 成果、● : 課題)

- 特色ある学校づくりの推進に係る研究事業については、各学校の特色を活かした教育活動を実施できた。

第8節 いじめ、不登校等への対応の充実

不登校・非行・いじめなどの問題の未然防止、解消

事 業 名	実 施 状 況	実 績	評 価
47. 一戸町いじめ問題対策連絡協議会	<p>一戸町いじめ防止基本方針のもと、一戸町内の小学校・中学校、関係諸機関等との連携を図り、いじめ問題の未然防止や早期発見・早期対応をめざした取組の充実に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議：令和6年5月2日（木） ・対象：二戸警察署生活安全課長・一戸交番所長・岩手県福祉総合相談センター児童福祉司・盛岡地方法務局二戸支局長・一戸町健康子ども課長・一戸町主任児童委員・県北教育事務所指導主事・在学青少年指導員・北桜高等学校長・一戸町校長会代表2名 ・会場：一戸地区センター 	1回開催	B
48. 学校警察連絡協議会	<p>児童生徒の健全育成のため、一戸町内の小・中学校高等学校が生徒指導について、相互に綿密な連携を図るとともに、関係諸機関等と連携を密にし、生徒指導の充実に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議：①令和6年7月1日（月） ②令和6年12月2日（月） ・対象：二戸警察署生活安全課長・一戸交番所長・小鳥谷駐在所長・中山駐在所長・各少年補導員・各小中学校長・北桜高等学校長・各校生徒指導主事又は担当者 ・会場：①一戸地区センター、②一戸地区センター ・内容：二戸警察署生活安全課長による講話と情報交換 ※合わせて生徒指導連絡協議会を開催 	2回開催	B
49. 学級生活満足度調査（Q-U）	<p>児童生徒の学級生活に対する満足感について実態を調査し、集団の中であたたかな人間関係づくりに役立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査学年：全校小学校4学年以上 ・調査回数：年2回（5月・11月） 	各校2回実施	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<p>○ 一戸町の学校におけるいじめや児童生徒の問題行動の実態を関係機関と共有・情報交換により今後の生徒指導に資することができた。</p> <p>○ Q-Uの調査により学級経営の指標とすることができた。また、夏季・冬季休業中にQ-Uを分析する教職員による研修会を開催して活用を図った。</p>			

その他

学校の管理運営

事業名	実施状況	実績	評価
50. 町立学校職員の任免・分限処分及び懲戒処分並びに服務等	<ul style="list-style-type: none"> ・県教委の指導により、適切に処理している。 ・綱紀保持については、これまで機をみて指導を行ってきたところであるが、軽微ながら交通事故（単独自損）が発生したことから、あらためて啓蒙に努める。 	処分の対象者なし	B
51. 町立学校職員の給与・勤務時間・勤務条件等	<ul style="list-style-type: none"> ・県教委の指導により、適切に処理する。 	適切に処理した。	B
52. 奨学及び育英	<p>◆町育英会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・償還対象者へ納付書の送付を行った。償還金について郵便による督促等の取り組みを行っている。 <p>◆田村清蔵奨学基金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者の決定を行った。 ・信託利益が上がりらず、基金を取崩し給付している状況である。 	<p>【新規採用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 1名 ・各種学校 0名 ・大学 3名 <p>【新規対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学 5名 	B
53. 学校事務の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・学校事務を共同で行う事により、適正且つ効率的な学校事務の管理体制の確立が図られてきた。 ・学校事務の共同実施組織と教委事務局との意見交換の場を設け、事務処理の改善に努めた。 	適正に進めることができた。	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<p>● 田村清蔵奨学基金は、基金を取り崩しているため、あと数年で枯渇してしまう。</p> <p>※ R7以降、基金の残高は4年制大学進学者3名分</p>			

健康意識の高揚に関わる組織強化と機能化

事業名	実施状況	実績	評価
54. 一戸町学校保健会報の発行	町内小中学校教職員及び保護者、保育施設等の職員及び保護者、医療関係者等へ年2回発行した。	年2回の発行を行った。	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ 学校保健思想の普及及び啓発が図られた。			

社会教育事業実施状況

第1章 生涯学習社会の構築

第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

A : 計画以上の成果を上げた
B : 達成できた
C : おおむね達成
D : 達成できなかった

事 業 名	実 施 内 容	参加人数	評価
1. いちのへ 町民セミナー	<p>○期日及び内容</p> <p>【共通課程】</p> <p>①「災害文学としての芥川龍之介『蜘蛛の糸』 —命の平等と窮屈状態での選択—」 盛岡大学教授 須藤宏明 氏 6月22日 一戸地区センター（開講式）</p> <p>②「サンキャッチャーブル」 ハンドメイド作家 山田恵理子（めりこ）氏 8月9日 一戸地区センター</p> <p>③「るんびにい美術館見学」 るんびにい美術館 職員 10月28日 花巻市 るんびにい美術館</p> <p>④「クリスマスお料理教室」 クッキングサロン「ケトル」代表 フードコーディネーター 新井尚美 氏 12月6日 一戸地区センター</p> <p>⑤「ラジオの魅力」 エフエム岩手 阿部沙織 氏 2月8日 一戸町コミュニティセンター</p> <p>【特別講座】</p> <p>①「認知症の理解」 明治安田 長内明子 氏 9月6日 一戸地区センター</p>	受講生 【共通課程】 ① 46名 ② 20名 ③ 20名 ④ 30名 ⑤ 121名 【特別講座】 ① 46名	B

成果と課題（○:成果、●:課題）

- いずれの講座も募集定員を大きくことなく実施できた。
- 特にも体験講座や見学講座は好評であった。
- 募集定員を大きく超えるような講座については、申込み開始日の設定や、抽選によって参加者を決定するなど公平に参加出来るよう工夫した。
- 参加者の固定化、参加者の要望にどこまで対応するのか。
- 今後も多彩なテーマを取り入れ、広い世代に興味関心を持っていただけるような企画が必要である。

第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事 業 名	実 施 内 容	参加人数	評価
2. 社会教育関係団体の育成	<p>期日 年間</p> <p>内容 団体活動補助金の交付</p> <p>対象 ①一戸町子ども会育成連絡協議会 (25団体、418名) ②一戸町地域婦人団体協議会（6団体、63名） ③一戸町PTA連絡協議会（7校、569名）</p>	—	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
2. 社会教育関係団体の育成	④一戸町文化協会（24団体、166名） ⑤一戸ユネスコ協会 (団体会員34団体、個人会員96名)		
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○ 対象団体等の事業実施に対する補助金交付、活動支援等を行い、活動の活性化が図られた。			

第3章 青少年の健全育成

第1節 指導者の発掘・養成

事業名	実施内容	参加人数	評価
3. 子ども会・育成会研修会	期日 ① 6月30日 御所野縄文博物館 ② 2月8~9日 県北青少年の家 内容 交流活動、体験活動	①小学生 9名 保護者 3名 高校生 2名 ②小学生 9名 高校生 2名	B
4. 岩手県ジュニアリーダー研修会	期日 ①研修会 4月7日 アイーナ ②研修会 5月25~26日 県北青少年の家 ③研修会 6月29~30日 国立青少年交流の家 ④保育体験活動 8月1~4日 国立青少年交流の家 内容 交流活動、保育体験、ワークショップ等	①高校生 4名 担当者 1名 ②高校生 3名 担当者 1名 ③高校生 2名 ④高校生 3名 担当者 1名	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○ 子ども会・育成会上級生研修会では、本年度も高校生ボランティアの協力を得ながら開催し、世代を越えた子ども同士、保護者同士の交流の場を創出することができた。 ● ジュニアリーダー研修会に参加した生徒が活躍する場が、現状では子ども会イベントが中心となっている。高校生を巻きこんだ事業の運営に向けて検討が必要。			

第2節 子ども行事の活性化

事業名	実施状況	参加人数	評価
5. 放課後子ども教室事業 (学校・家庭・地域連携協力推進事業：国庫補助)	期日 4月～3月 場所 ①旧一戸幼稚園（週5日） ②旧鳥越小学校（週5日、長期休み） ③鳥海地区センター（週5日、長期休み） ④小鳥谷地区センター（週2日程度） ⑤奥中山小学校（週5日） 内容 平日放課後の居場所として子ども教室を開催	登録者数 ① 17名 ② 7名 ③ 16名 ④ 7名 ⑤ 41名	B
6. 少年団体育成指導委員会議	期日 ①5月8日 一戸地区センター ②3月7日 一戸地区センター 内容 町子連行事への指導助言及び運営協力	①委員 3名 ②委員 2名	B
7. 町子連イベント (子ども会ドッジボール大会等)	①ドッジボール大会 期日 9月23日 一戸町体育館 <u>※参加者が少なかったため中止</u> ②缶けり逃走中ごっこ 期日 10月27日 一戸町総合運動公園 ③ニュースポーツ交流会 期日 11月23日 モルック体験	②小学生 58名 保護者 13名 中高校生 5名 ③小学生 5名 保護者 3名	B
8. 新年かきぞめ大会	期日 1月10日 コミュニティセンター	小学生 26名 一般 18名	B

事業名	実施状況	参加人数	評価
9. 管内子どもの読書活動推進連絡会議（県）	期日 5月21日 かるまい文化交流センター 内容 子どもの読書活動を推進するための体制や事業について、共通理解と情報交換を行う。	担当者 2名 図書館職員 1名	B
10. 管内読書ボランティア等研修会（県）	期日 9月6日 二戸地区合同庁舎 内容 子どもの読書活動を推進するため、関係機関やボランティア団体との情報交換、研修を行う。	図書館職員 2名	B
成果と課題（○:成果、●:課題）			
○ 放課後子ども教室では、本年度も地域住民の協力をいただきながら、放課後の安全な居場所を確保することができた。 ○ 町子連組織は、昨年度からの協議の結果、今年度末を持って解散することが5月総会にて決定した。イベントは、保護者や教職員の負担を可能な限り軽減できるようイベントの周知方法等を変更した。 ● 各種行事と日程が重なったことなどにより参加者が少なく、やむなく中止した事業もあったため、今後の青少年事業企画の際は他事業の情報も見ながら進めたい。			

第3節 健全な社会環境づくりの推進

家庭教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
11. 家庭教育学級（小・中学校）	期日 年間 町内小中学校 対象 児童生徒、親等 内容 ①一戸小学校 (5講座) ②一戸南小学校 (2講座) ③鳥海小学校 (6講座) ④小鳥谷小学校 (4講座) ⑤奥中山小学校 (5講座) ⑥一戸中学校 (7講座) ⑦奥中山中学校 (5講座)	①一戸小学校 416名 ②一戸南小学校 101名 ③鳥海小学校 156名 ④小鳥谷小学校 39名 ⑤奥中山小学校 295名 ⑥一戸中学校 386名 ⑦奥中山中学校 157名	B
12. 家庭教育学級（幼児）	①親子で学ぶ！ハロウィンクレープ作り 期日 10月13日 一戸地区センター	幼児 8名 小学生 2名 保護者 7名	B
成果と課題（○:成果、●:課題）			
○ 幼児を対象とした家庭教育支援について、企業や住民から協力を得ながら実施することが出来た。 ● より多くの親子の参加を得られるよう、講座の内容や実施時期の検討が必要			

教育振興運動の推進

事業名	実施内容	参加人数	評価
13. 教育振興事務局長会議	期日 5月10日 一戸地区センター 内容 令和6年度教育振興推進計画と実践内容、家庭教育学級について	事務局等 8名	B
14. 教育振興運動推進委員会総会	期日 6月27日 一戸地区センター 内容 令和5年度報告及び令和6年度計画案等 研修会同時開催（講師：県北教育事務	委員等 26名	B
15. 地域とともにある学校づくり推進フォーラム（県）	期日 6月20日 久慈市文化会館 内容 地域と学校の連携・協働やコミュニティ・スクールについて ※当町（町生涯学習・協働推進課、奥中山中学校）から事例発表、パネリスト	職員 2名	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
16. 教育振興実践記録集の発行	各学校（実践区、地区協議会）で取り組む活動を1冊にまとめた記録集を発行。家庭教育学級の取り組みも収録。（年1回、6月発行）	80部	B
17. 地域学校協働本部事業 (学校・家庭・地域連携協力推進事業：国庫補助)	期間 4月～3月 目的 地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制の構築を図るとともに、多様な形態の教員支援を行い、子どもと向き合う時間の拡充を図る。 内容 地域住民による学習支援、図書ボランティア、スクールガード、その他各種学校支援	導入校： 一戸小 一戸南小 鳥海小 小鳥谷小 奥中山小 一戸中 奥中山中	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ 地域学校協働本部事業は、本年度新たに一戸小学校、一戸中学校が導入した。これにより町内全ての学校で、地域・家庭と連携した活動が展開されている。 ● 地域の特色を生かした活動が展開されるよう、地域と学校のつなぎ役となるコーディネーターの資質向上を図る必要がある。			

その他

推進体制の充実

事業名	実施内容	参加人数	評価
18. 生涯学習推進本部 ①推進本部会議 ②推進本部幹事会議	生涯学習に関する各課等相互の連絡調整。	随時	B
19. 生涯学習推進協議会	生涯学習に関する必要な事項を協議し、町民の自主的、主体的な生涯学習を推進	随時	B
20. 二戸地区社会教育担当者会議	期日 ①5月31日 二戸地区合同庁舎 ②8月30日 久慈地区合同庁舎 ③12月5日 県北青少年の家 ④2月21日 久慈地区合同庁舎	① 1名 ② 1名 ③ 2名 ④ 1名	B
21. 管内生涯学習・文化行政主管課長会議	期日 4月22日 二戸地区合同庁舎	2名	B
22. 二戸地区社会教育部会別会議（共）	期日 5月13日 二戸地区合同庁舎 内容 図書館、文化財、公民館の3部会ごとに分かれて開催。	7名	B
23. 社会教育委員会議	① 期日 5月30日 一戸地区センター 内容 令和5年度社会教育関係事業実施状況について 令和6年度 " 計画等について ② 期日 12月13日 一戸地区センター 内容 令和6年度社会教育関係事業実施状況について 令和7年度の重点施策について	①委員 9名 ②委員 10名	B
24. 二戸地区社会教育連絡協議会総会・学習会	期日 6月5日 二戸地区合同庁舎	委員 4名	B
25. 二戸地区社会教育委員等研修会	第70回岩手県公民館大会・令和6年度岩手県社会教育委員研究大会（花巻・遠野地区大会）への参加 期日 7月19日 花巻市文化会館 内容 記念講演、文科会、アトラクション	委員 3名 職員 2名	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
26. 二戸地区社会教育委員等研修会	期日 11月14日～15日 青森県青森市 内容 全国公民館研究集会青森大会に参加	委員 1名 職員 2名	B
27. 生涯学習指導員の設置		1名	B
28. 広報活動	指導員による助言や町広報紙、ホームページを活用し、生涯学習の普及、啓蒙と情報を発信。	通年（町広報誌、ホームページ）	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<input type="radio"/> 関係機関との連絡調整及び情報交換を図ることができた。 <input checked="" type="radio"/> 町の公式LINEを活用し、町民への情報発信に努める。			

生涯学習の普及推奨

事業名	実施内容	参加人数	評価
29. 生涯学習カレンダーの作成	期日 年1回（4月） 内容 町内生涯学習関係行事等	配布 町内全戸配布	B
30. 学習相談事業の実施	学習内容への助言、講師等の紹介	年間 隨時	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<input type="radio"/> 生涯学習活動のきっかけづくりとなった。 <input type="radio"/> 年間行事を周知することにより、各団体等の事業計画の参考となった。			

スポーツ振興事業実施状況

第4章 スポーツの推進

第1節 スポーツ団体の育成及び指導者の確保

指導者養成

A : 計画以上の成果を上げた B : 達成できた

C : おおむね達成 D : 達成できなかつた

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 岩手県スポーツ推進委員協議会総会	期日 5月30日 ・令和5年度事業報告、決算について ・令和6年度事業計画、予算について	スポーツ推進委員 1名	B
2. 岩手県スポーツ推進委員研修会	期日 9月7日（陸前高田市）	スポーツ推進委員 2名 事務局 1名	B
3. 東北地区スポーツ推進委員研修会	期日 7月12日～13日（宮城県石巻市）	スポーツ推進委員 4名 事務局 3名	B
4. 全国スポーツ推進委員研究協議会	期日 11月14日～15日（宮崎県） (※表彰対象者なしのため不参加)	スポーツ推進委員 0名 事務局 0名	—
5. 二戸地区生涯スポーツ研修会兼スポーツ交流会	期日 2月22日（軽米町）	スポーツ推進委員 5名	B
6. 岩手県スポーツ推進委員初任者研修会	期日 6月23日（葛巻町）	スポーツ推進委員 0名	—
7. 一戸町スポーツ推進委員研修会	期日 2月22日（軽米町）	スポーツ推進委員 5名	B
8. 一戸町スポーツ推進委員障がい者交流会	期日 第1回 7月6日（一戸地区センタースポーツ館） 第2回 10月12日（一戸地区センタースポーツ館）	スポーツ推進委員 3名 4名	B
成果と課題（○:成果、●:課題）			
<input type="radio"/> 各種研修会への参加により、指導者としてのスキルアップを図ることができた。 <input type="radio"/> 障がい者交流会を通じて、障がいがある人たちのスポーツ活動の促進及びスポーツ推進委員の障がい者スポーツへの理解を深めることができた。			

奨励活動

事業名	実施内容	参加人数	評価
9. スポーツ賞表彰式	期日 3月11日（一戸地区センター）	受賞者 個人 34名 団体 7団体 指導者 1名	B
成果と課題（○:成果、●:課題）			
<input type="radio"/> 優秀な成績を収めた個人・団体を表彰することで、競技者のモチベーションの向上が図られるとともに、町民のスポーツに対する興味関心も高めることができた。			

団体育成

事業名	実施内容	参加人数	評価
10. スポーツ団体の育成	年間（体育協会、スポ少、種目別協会）	体育協会 20 団体 スポ少 9 団体	B
成果と課題（○:成果、●:課題）			
○ 選手の育成のみならず、子育て世代の負担軽減も図ることができた。			

第2節 スポーツ・レクリエーション実践活動の促進

体力つくり関係

事業名	実施内容	参加人数	評価
11. 第14回一戸町長杯なぎなた競技会	期日 6月2日（一戸町武道場）	小、中 男女 35名	B
12. 第40回一戸町総合スポーツ大会（ゲートボール競技）	期日 7月27日（奥中山地区センターホール）	4チーム 31名	B
13. 第40回一戸町総合スポーツ大会（ソフトボール競技）	期日 6月9日（奥中山小学校校庭） <u>※エントリーなしのため中止</u>		D
14. 第40回一戸町総合スポーツ大会（軟式野球競技）	期日 6月9日（運動公園野球場） <u>※エントリーなしのため中止</u>		D
15. 未就学児運動能力測定会	期日 7月4日（奥中山小学校） 7月17日（一戸地区センタースポーツ館）	町内保育園児 27名 60名	B
16. 第67回町民体育大会	期日 8月20日 奥中山 月 日 平 糜 <u>※参加者なしのため中止</u> 9月17日 鳥 海 10月6日 小鳥谷 月 日 姉 帯 <u>※参加者なしのため中止</u>	300名 200名 60名	C
17. 第49回一戸町民ロードレース大会 第49回一戸町駅伝競走	期日 10月5日（総合運動公園）	小、中、一般男女 327名 駅伝競走 15チーム 60名	B
18. 第34回ゲートゴルフ大会 第18回グランドゴルフ交流会	期日 10月14日（総合運動公園）	小中一般男女 48名	B
19. 第14回一戸町秋季なぎなた大会	期日 11月30日（一戸町武道場）	小、中、高 男女 42名	B
20. オクトーバーラン&ウォーク 2024	期日 10月1日～31日	町民 ウォーキングの部 50名 ランニングの部 ※R5年度から参加システム変更により集計なし	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
21. 第3回一戸町ゲートボール大会	期日 11月17日 (屋内ゲートボール場)	一般男女 8チーム 42名	B
22. 第40回一戸町総合スポーツ大会(バレー・ボーラー競技)	期日 12月8日 (一戸中学校)	2チーム 30名	C
23. 第40回一戸町総合スポーツ大会(ビーチバレー・ボーラー競技)	期日 12月8日 (一戸小学校)	3チーム 25名	C
24. 第40回一戸町総合スポーツ大会(卓球競技)	期日 2月9日 (奥中山小学校)	3チーム 30名	C
25. 無料スキー教室	期日 1月5日 (奥中山高原スキー場)	小、中、一般男女 アルペン 32名 歩くスキー 8名	B
26. 町民スポ・レク学級	期日 1年間 (町内希望団体)	幼児、小中一般 延べ 79回 21団体 1,637名 講師派遣数 延べ 83名	B
成果と課題 (○:成果、●:課題)			
○ 本年度から町民ロードレースに一戸小学校が全校参加となった。昨年度を大きく上回る参加人数となり、活気あふれる大会となった。			
● 各事業の見直しを進め参加者の確保を図ると同時に、日ごろのスポーツ活動につながる仕掛けが必要。			

地区スポーツ振興会等事業

事業名	実施内容	参加人数	評価
27. [奥中山] ★奥中山地区総合体育大会 ソフトボール ゲートボール モルック 卓球 ★登山 ★グラウンドゴルフ交流会 ★バスケット交流会	◎奥中山高原クラブ 奥中山小体育館他 ・7月14日 (青年、一般男) ・7月14日 (60才以上男女) ・7月14日 (一般男女) ・11月10日 (一般男女) ・10月20日 (小、中、高、一般男女) ・10月6日 (一般男女) ・1月12日 (小、中、高、一般男女)	84名 49名 70名 70名 14名 25名 64名	B
28. [小鳥谷] ★ニューススポーツ交流会 ★ビーチバレー・ボーラー大会	◎小鳥谷地区スポーツ振興会 ・7月7日 小鳥谷地区センター (小、中、高、一般男女) ・2月23日 小鳥谷地区センター (一般男女)	16名 9チーム 60名	B
29. [鳥海] ★小学生ペタンク ★ペタンクリーグ戦	◎鳥海地区スポーツ振興会 ・7月29日 (小学生男女) ・7月~8月 (一般男女)	12名 延べ 141名	B
成果と課題 (○:成果、●:課題)			
○ 補助金の交付により、本年度も継続し開催することができた。今後も支援を継続し、地域内外のスポーツ交流、健康づくりを進めたい。			

体育施設の開放

事業名	実施内容	参加人数	評価
30. スポーツの場開放	期日 4月～3月 一戸小・一戸中・奥中山小・鳥海小・旧鳥越小・ 旧小鳥谷中・旧宇別小	986回 延べ14,878名	B
成果と課題（○:成果、●:課題）			
○ 地域住民や各種団体との連絡調整を行い、活動の場を確保することができた。			
● 設備が老朽化しているものの、施設の不具合等が原因となる事故等は無く安全に利用いただくことができた。閉校に伴う開放施設の見直しを行い、今後も地域住民が利用しやすい施設運営を行う。			

第3節 スポーツ交流の促進

各種大会の開催と協力

事業名	実施内容	参加人数	評価
31. 早起き野球リーグ	期日 6月～8月 (全3試合)	一般3チーム 延べ80名	B
32. 第75回岩手民体育大会	期日 ①夏季 6月～8月 (県内市町村) ②冬季 1月 (県内市町村)	一般男女 ①7種目 44名 ②7種目 11名	B
33. 一戸町長杯ペタンク大会	※主催者判断により中止		—
34. 第52回町民登山	期日 7月13日 (紫波町東根山)	一般男女 21名	B
35. 会長杯ターゲットバードゴルフ大会	期日 11月4日 (ターゲットバードゴルフ場)	一般男女 20名	B
36. 北岩手南青森中学校体育大会(柔道)	※主催者判断により中止		—
37. 第52回北岩手南青森親善バレーボール大会	期日 10月22日 (一戸地区センタースポーツ館)	高校・一般 13チーム 168名	B
38. 第9回一戸町長杯グラウンド・ゴルフ大会	期日 10月3日 (総合運動公園)	一般男女 111名	B
39. 2025 FISCHER CUPクロカントリースキー奥中山高原大会兼第65回一戸町小中学校スキー大会	期日 1月25日 (奥中山高原スキー場)	小、中、高、一般 149名	B
40. 2025 ROSSIGNOL CUP奥中山高原スキー大会兼第65回一戸町小中学校スキー大会	期日 1月25日 (奥中山高原スキー場)	小、中、高、一般 50名	B
41. 第18回奥中山高原クロスカントリースキー大会	期日 2月16日 (摺糠地区特設コース)	小、中、高、一般 個人 104名 リレー 23チーム	B
42. 一戸町希望郷ペタンク大会	※主催者判断により中止		—
43. 各種スポーツ大会派遣事業	随時	小中高一般男女	B

成果と課題（○:成果、●:課題）

○ 関係団体への補助により、主催者の意欲向上が図られ町内で大会が開催された。
○ 選手の育成のみならず、参加者の経済的負担軽減も図ることができた。
● 人口減少に伴い参加者が減っていく状況ではあるが、各種大会の目的が達成できるよう支援が必要。

その他

推進体制の充実

事業名	実施内容	参加人数	評価
44. 学校開放管理指導員会議	期日 4月15日 (総合運動公園) ・令和5年度反省及び6年度事業計画について	管理指導員 5人	B
45. 市町村生涯スポーツ担当者会議	期日 5月22日 (サンセール盛岡) ・令和6年度スポーツ関連事業について	事務局 1名	B
46. 一戸町スポーツ推進委員会議	期日 ①5月8日 (一戸地区センター) ・令和6年度事業計画について ②3月26日 (一戸地区センター) ・令和6年度事業報告について	スポーツ推進委員 15名 スポーツ推進委員 13名	B
47. 二戸地区スポーツ推進委員協議会総会	期日 5月17日 (九戸村公民館) ・令和5年度事業報告、決算について ・令和6年度事業計画、予算について	スポーツ推進委員 3名	B
48. 体育協会、スポーツ少年団各種大会監督者会議等諸会議	期日 5月29日 (一戸地区センター) ・一戸町体育協会令和6年度定期総会 期日 6月28日 (総合運動公園) ・一戸町スポーツ少年団令和6年度定期総会	体協会員 35名 スポ少会員 8名	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○ 関係者間の連絡調整及び情報交換を図ることができた。			

地区センター事業実施状況

【一戸地区センター】

第1章 生涯学習社会の構築

第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

成人教育

A : 計画以上の成果を上げた B : 達成できた

C : おおむね達成 D : 達成できなかつた

事 業 名	実 施 状 況	参 加 人 数	評 価
1. いちらのへ町民セミナー	<p>【一戸コース】</p> <p>期日及び内容</p> <p>① 7月 22 日 「予測ができない地震に備える！ もしものときのアクションプラン」 明治安田生命盛岡支社 チーフコンシェルジュ 長内 明子 氏</p> <p>② 8月 21 日 「ためになる健康講座」 森永乳業株式会社 栄養士 欠端 英美子 氏 〃 管理栄養士 岩館 広佳 氏</p> <p>③ 9月 20 日 「食の匠に学ぼう！～串もちづくり～」 岩手県食の匠 戸來 雅美 氏</p> <p>④ 10月 11 日 現地研修「大人の社会科見学：(株) 南部美人の酒蔵見学」 行き先 株式会社南部美人 本蔵 株式会社南部美人 職員</p> <p>⑤ 12月 3 日 現地研修「大人の社会科見学：菌床しいたけの生産農場」 行き先 J A 新岩手 奥中山野菜集出荷場 フォレストファーム女鹿口 農場 J A 新岩手 二戸営農経済センター 職員 フォレストファーム女鹿口 代表 女鹿口 幸成 氏</p>	受講生 ① 40名 ② 21名 ③ 13名 ④ 19名 ⑤ 20名	A
2. 各種教室の開催	<p>① 食の匠に学ぼう！～串もちづくり～</p> <p>期日 10月 22 日</p> <p>内容 郷土料理「串もち」の味と作り方の極意を学ぶ講座</p> <p>② ちよこっと運動教室</p> <p>期日 12月 3日～3月 11日（年末年始期間、祝日除く）</p> <p>毎週火曜日 全10回</p> <p>内容 軽めの運動をして身体をほぐす機会を作るための教室</p> <p>③ クリスマスお料理教室</p> <p>期日 12月 19 日</p> <p>内容 新井尚美先生より、簡単なクリスマスメニューを学ぶ講座。</p>	① 11名 ② 112名 (延べ) ③ 20名	A
3. 一戸町二十歳のつどい	期日 8月 15 日 内容 式典と記念行事 今年度は対象年齢引き下げの移行の年で、2学年開催	計 125名 ※対象計 178名	A
4. テニス教室	期日 8月 29 日～毎週水曜日 計5回 内容 硬式テニス教室	26名 (延べ)	B

成果と課題（○:成果、●:課題）

- 町民セミナーでは、防災や健康をテーマにしたものや地元の郷土料理、企業・特産の見学といった、地域住民のニーズ合った内容を企画することができた。また、料理講座や現地研修は申込みが多くキャンセル待ちになったことから、体験講座のニーズが高いことが分かった。
- テニス教室は、テニス協会からの声かけもあり、参加者は昨年度と同程度だった。また、広報を見て参加した方も数人いたので広報や町HPを活用しながら進めていきたい。

高齢者教育

事業名	実施状況	参加人数	評価
5. 高齢者教室	期日 9月18日～11月22日 全9回 内容 スマホ教室～応用編～	43名 (延べ)	B

成果と課題（○:成果、●:課題）

- 高齢者を対象にスマホ教室を実施できた。
- 応用編というテーマで実施したが、実際参加した方々からは実用的な質問も多かったため、今後は実用的な内容についても実施していきたい。

その他

事業名	実施状況	参加人数	評価
6. 旧正月を祝う会	期日 2月4日 一戸町コミュニティセンター 内容 中国文化圏の方々にとって、旧正月を盛大に祝う習慣のあることから、町内在住の外国人の方々と一緒に祝いをし、交流を図る。 ※国際交流協会主催、一戸地区センター共催	84名	B
7. 一戸地区新年交賀会	期日 1月10日 一戸町コミュニティセンター 内容 地区民参加のもと親睦交流を図る。	50名	A
8. 一戸町文化祭	期日 11月1日～3日 内容 各種作品展示、舞台発表	展示部門 1,119点 舞台部門 12団体 20演目	B
9. 施設内への作品展示	期日 通年 内容 各種作品展示	—	B
10. 広報活動	期日 隨時 内容 町広報紙・ホームページを活用した事業の周知。 地区センターだよりの発行。	—	B

成果と課題（○:成果、●:課題）

- 文化祭は、展示場所や舞台の発表時間の見直しを行うとともに、新たに町内事業者による飲食販売を誘致し、来場者の満足度向上を図った。
- 一戸地区センターだよりを計画どおり四半期末に発行することができた。（6月28日、9月30日、12月27日、3月27日）

第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事業名	実施状況	参加人数	評価
11. そよかぜ学級	期日 年間 内容 約10人以上の参加が見込める団体の活動に対して、講師への謝礼金を援助する。	4月～3月まで 23件	B

成果と課題（○:成果、●:課題）

- 自治公民館長・町内会長等連絡会議や、町ホームページでそよかぜ学級について周知をしているが、コロナ前の利用数には至っていない。事業についての説明だけでなく、講座内容や講師の紹介も同時に行うことで講座を企画する団体の負担を減らし、利用者の増加を図りたい。

第3章 青少年の健全育成

第2節 子ども行事の活性化

青少年教育

事業名	実施状況	参加人数	評価
12. 青少年地域活動	<p>①第2回親子でみちのく潮風トレイル 期日 7月20日 黒崎展望台～普代水門 内容 潮風トレイルのコースを親子で一緒に歩く</p> <p>②令和6年度親子で登山in階上岳 期日 10月14日 階上岳(青森県) 内容 階上岳を親子で一緒に登山する</p>	<p>① 19名 (親子等7組)</p> <p>② 16名 (親子6組)</p>	B
13. 子ども映画会	<p>期日 4月～11月 計8回 内容 いのちのへじょうもんの里こども園の園児を対象に、映画会を開催。</p>	延べ281名	B
14. 青少年ボランティア活動	<p>期日及び内容 町内中・高生を対象に行事にボランティアとして参加してもらう。</p> <p>①6月30日 御所野の自然と縄文文化にふれてみよう ②10月27日 缶けり逃走中ごっこ ③11月23日 一戸町ニューススポーツ交流会</p>	<p>中高生 ① 2名 ② 5名 ③ 0名</p>	B
成果と課題 (○:成果、●:課題)			
<p>○ 青少年地域活動では、親子を対象とした他地域での自然体験活動を実施することで、その土地ならではの風景や自然を五感で感じるとともに、参加した親子間や参加者間での交流を図ることができた。</p>			

その他

推進体制の充実

事業名	実施状況	参加人数	評価
15. 自治公民館長・町内会長等連絡会議	<p>期日 5月16日 内容 町政概要、各種支援制度、地域防災について説明</p>	42名 (うち自治公民館長18名)	B
16. 地区センター定期利用社会教育関係団体代表者会議	<p>期日 3月6日 一戸地区センター 内容 各団体の育成推進、活動方針や事業計画を協議</p>	12名 (13団体)	B
成果と課題 (○:成果、●:課題)			
<p>○ 自治公民館長会議と町内会長等会議を合同で行うことで、出席者の増加及び会議内容を充実することができた。</p> <p>○ 新たに2地域(子守、平糠)の自治公民館を認定し、地域における社会教育推進体制を充実することができた。</p>			

【鳥海地区センター】

第1章 生涯学習社会の構築

第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

成人教育

A : 計画以上の成果を上げた B : 達成できた

C : おおむね達成 D : 達成できなかつた

事 業 名	実 施 内 容	参加人数	評価
1. いちらのへ町民セミナー 「ワクワク体験コース」	期日 7月～11月 計4回(現地研修1回) 内容 ①7月10日(水) ・「博物館の仕事とは…バックヤードにて」現地研修 ・講師:御所野縄文博物館 ②9月2日(月)、9日(月)、30日(月) ・「『動』と『静』」 ・講師:一戸町地域おこし協力隊 上野 光久 氏 ③10月23日(水) ・「『糸かけ』づくり」 ・講師:関下 千賀子 氏 ④11月13日(水) ・「『こぎん刺し×紙刺繍』づくり」 ・講師:中村 智子 氏	① 20名 ② 延べ 44名 ③ 21名 ④ 20名 受講申込:41名 参加延数:105名	B
2. 創作活動	①陶芸教室 9月18日(水)、10月9日(水) ②パッチワーク教室 (毎月1～2回) ③ミニ門松作り教室 12月18日(水)	① 延べ 32名 ② 16回 ③ 延べ 161名 ④ 14名	B
3. 作品発表展示会	期日 一戸町文化祭 11月1日～3日 内容 各教室で制作した作品の展示。	60名 117作品	B
成果と課題 (○: 成果、 ●: 課題)			
○ 各教室等では、作品の制作過程、完成を楽しむだけでなく、様々な世代の交流も見られた。 ● 各学級や各種教室、各種団体、グループ等の活動では、自主的な活動の奨励と支援を図り、地区民の要望等も考慮して、事業の実施や開催時期、内容の検討をしていく必要がある。			

高齢者教育

事 業 名	実 施 内 容	参加人数	評価
4. 各種ボーット大会	期日 ①親善ゲートボール大会 7月23日(火) ②グラウンド・ゴルフ大会 9月25日(水) ③ボッチャ大会 1月8日(水) 内容 会員の健康づくりと交流・親睦を図る。	① 19名 ② 35名 ③ 31名	B
5. 親睦旅行	期日 10月9日(水) 内容 「八幡平ハイツ」で会員の交流・親睦を図る。	27名	B
6. 短歌・俳句	期日 3月 文集第 集発刊 内容 地区民と愛好会員に作品を募集し、1冊の文集として纏める。(※応募作品なし)	休刊	—
7. 地域奉仕活動	期日 10月21日(月)(草取り) 内容 鳥海小学校の全校児童と高齢者が一緒になって、学校の中庭の草取りを実施。活動後に、児童と昔遊びなどの交流会を開催。	老人クラブ20名	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
8. 楽しく学ぼう 西川目長寿大学 校	<p>期日 11月～2月（計4回） 場所：奥中山高原温泉 来田保養センター 宮田温泉集会所 翔遊館</p> <p>内容 ①11月15日（金） •「体を動かし、元気はつらつ」 •講師：スポーツウエルネス職員</p> <p>②12月11日（水） •「特殊詐欺から友蔵を守れ」寸劇 •講師：カシオペア権利擁護支援センター</p> <p>③1月15日（水） •「初笑い落語を楽しもう」 •講師：手次手次亭 鮎六 氏</p> <p>④2月12日（水） •「鳥海の縄文時代」 •講師：町世界遺産課職員</p>	① 15名 ② 25名 ③ 36名 ④ 29名	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ スポーツ大会では、昨年度より参加者が増え、交流が活発に図られ親睦を深めることができた。 ○ 高齢者の方々と児童で小学校の草取りを実施し、参加者が多い活動である。小学校は閉校となつたが、高齢者一人一人が地域貢献できる活動を今後も地域の方々と協力して事業を企画したい。 ● 短歌・俳句については、愛好会員の高齢化、減少が続いており文集の発刊が難しくなつてきている。			

第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事業名	実施内容	参加人数	評価
9. 移動公民館及びそよかぜ学級	<p>期日 年間</p> <p>内容 約10人以上の参加が見込める団体の活動に対し、講師謝礼の援助。</p>	27回 延べ299名	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ コロナ禍で一時的に参加人数が減少したが、会議等において事業について再度説明を行つたことで各地域において事業を活用し、昨年度より回数・参加者が増となつた。			

第3章 青少年の健全育成

第2節 子ども行事の活性化

青少年教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
10. 習字教室	<p>期日 毎週月曜日 鳥海地区センター</p> <p>内容 子ども達の情操を育て、技術の向上を図る。（小学生7名）</p>	延べ182名	B
11. 環境美化運動	<p>期日 ①4月28日（日）・早朝クリーン作戦 ②年間 ・花だんづくり</p> <p>内容 地域の環境美化運動に参加し、子ども会での花壇づくりの推進。</p>	① 150名 ② 小友地区	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
12. 青少年地域活動 (チャレンジ土曜日)	期日及び内容 7月29日(月) 「ペタンク大会」	12名	C
13. 大志を抱く会	期日 隔年開催のためR6はなし 内容 一戸中学校の鳥海地区出身の1・2年生を対象に、将来の夢や希望を宣誓していただく立志式を開催する。また、茶話会を通じて地域とのつながりを図る。	一名	—
成果と課題 (○:成果、●:課題)			
● 小学生の数が急激に減少しており、団体競技のスポーツ体験が難しい状況である。今後もニューススポーツ等を取り入れ少人数でも楽しめる活動にしたい。			

その他

推進体制

事業名	実施内容	参加人数	評価
14. 地区センター運営協力者会議	期日 5月22日(水) 内容 地区センター運営全般について、活動の計画、反省等について意見交換。	15名	B
15. 三者合同健全育成会議	期日 7月18日(木) 内容 各地区子ども会育成会長、小・中学校長、地区センターの三者が会し、連携と理解を深める。	7名	B
16. 各種団体長会議	期日 12月5日(木) 開催 内容 そよかぜ学級実施団体への事業説明	9名	B
17. 地区センターだよりの発行	期日 年間 一戸町の広報発刊日にあわせて月1回発刊 内容 地区センターの活動計画や実施内容等のお知らせや地域や学校の行事などを地域住民全戸に配布。	347世帯に 通算発行数 420号	B
18. ちらし等の情報提供	期日 通年 内容 地区センター事業や各種団体での募集やチラシづくりの協力など地区センターだより以外に必要に応じて作成し地域の方々へ情報提供する。		B
19. 鳥海地区スポーツ振興会及び各種スポーツ大会への支援(協賛)	期日 年間 内容 ①地区ペタンク・リーグ戦 7月17日(水)、31日(水)、8月7日(水)、21日(水) ②鳥海地区総合スポーツ大会 ・ビーチボールバレー ・ソフトボール ③鳥海地区町民体育大会 9月15日(日)	①延べ141名 ②開催なし ③150名	B
20. 鳥海地区振興会及び各種団体への支援・協力	期日 年間 内容 ①地区振興会活動への支援と協力 ・早朝クリーン作戦、桜の植樹場所等の刈り払い 標語コンクール、新年交賀会、大志を抱く会 ②各種諸団体活動の活性化と支援。		B

事 業 名	実 施 内 容	参加人数	評価
21. 鳥海ボランティア高森会への支援・協力	期日 年間 内容 高森高原まつりへの協力、鳥海地区振興会と協力しての刈り払い、研修旅行、介護予防教室の送迎等		B
22. 高森高原まつり実行委員会への支援・協力	期日 6月2日（日） 内容 高森高原まつり実行委員会への支援・協力	500名	B
23. 介護予防拠点施設「翔遊館」への支援・協力	期日 年間 内容 翔遊館の利用促進と介護予防拠点施設運営協議会への協力、介護予防教室開催時の送迎等。		B
24. 鳥海地区新年交賀会	期日 令和7年1月4日（土）正午から 内容 地域住民が一堂に会し、新年を祝い相互の親睦を図る。		B
成果と課題（○:成果、●:課題）			
○ 少子・高齢化が顕著に進んではいるが、体育・文化、地域の活動に対して積極的に、地区センターが可能な限りの支援・協力の体制をとっている。			

【小鳥谷地区センター】

第1章 生涯学習社会の構築

第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

A : 計画以上の成果を上げた B : 達成できた

C : おおむね達成 D : 達成できなかつた

成人教育

事 業 名	実 施 内 容	参加人数	評価
1. いちのへ町民セミナー	<p>○期日・内容 小鳥谷コース（小鳥谷地区センター） ①7月17日（水） 演題：「交通安全について」 講師：小鳥谷駐在所 所長 三本木 裕美 氏 ②9月26日（木） 現地研修：盛岡市中央卸売市場・・・・市場見学 岩手県立総合防災センター・・防災セミナー ③10月24日（木） 演題：「岩手の縄文研究は小鳥谷から始まった！」 講師：御所野縄文博物館 館長補佐 中村 明央 氏 ④11月21日（木） 実習：『『へっちょこだんご』づくり』 講師：サラダボウル・こずや 西館 かつ江 氏</p>	受講生 43名 ①26名 ②18名 ③27名 ④20名 コース延べ参加人数91名	B
2. 書道教室 (8. 書道教室と同時開催)	○期日 毎週金曜日 ○場所 小鳥谷地区センター ○内容 毛筆の課題を練習し毎月作品を提出	受講生 6名 延べ受講者数 177名	B
3. 料理教室	○期日・内容 ①10月10日（木） わくわくパン教室 ピザパン、バターロール、メロンパン作り ②2月12日（水） 野菜たっぷり野菜まん作り	①19名 ②12名	B
4. ヨガ教室	○期日 1月～3月 計9回 ○場所 小鳥谷地区センター ○内容 ヨガ教室	受講生 8名 延べ 66名	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○ いちのへ町民セミナーは、地域内にある施設等の方を講師としてすることで興味を持って参加する地区内の受講生が多かった。 ● 受講生の固定化傾向が見られるため、内容、開催曜日、周知方法等を検討して実施したい。			

高齢者教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
5. 小鳥谷はつらつ あっぷ教室（共催）	○期日 4月～3月（毎月第4木曜日、12～3月は毎週木曜日） ○内容 介護予防を目的とした教室 (主催：一戸町地域包括支援センター)	21回 延べ247名	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ 参加者の健康増進及び介護予防に繋がっている。			

第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事業名	実施内容	参加人数	評価
6. そよかぜ学級	①こしぇーる・こずや 期日 4月 10 日 場所 お休み処小鳥谷駅ニコニコ 内容 フェルト細工教室 ②がんばるお母さんの会 期日 5月 30 日、6月 13 日 場所 小鳥谷地区センター 内容 陶芸教室 ③ファイトアップ同好会 期日 5月～10月 計6回 場所 小鳥谷地区センター 内容 体操、レクリエーション ④小鳥谷婦人会 期日 10月～2月 計12回 場所 小鳥谷地区センター 内容 踊りの教室 ⑤がんばるお母さんの会 期日 12月 13 日、1月 26 日 場所 小鳥谷地区センター 内容 こぎん刺し体験 ⑥高屋敷町内会 期日 12月 30 日、2月 9 日 場所 高屋敷集会場 内容 手打ちそば・うどん教室 ⑦姉帶下村友の会 期日 1月 14 日、2月 18 日、3月 3 日 場所 下村集会場 内容 料理教室、運動教室、講演	①10名 ②延べ 20 名 ③延べ 50 名 ④延べ 48 名 ⑤延べ 31 名 ⑥延べ 20 名 ⑦延べ 47 名	A
7. 自主講座	○期日・内容 ①華道教室 毎月第2・4月曜日 ②大正琴教室（琴修会） 毎月第2・4月曜日 ③小鳥谷さわやかクラブ（健康づくり） 毎月第2・4水曜日 ④駒木婦人の会（健康づくり） 毎週土曜日	①延べ 32 名 ②延べ 55 名 ③延べ 126 名 ④延べ 239 名	B

成果と課題 (○: 成果、●: 課題)

- そよかぜ学級は、地区民が自主的に企画し参加者相互の交流が図られている。前年度より事業数は増となつておらず、今後も活用団体の増に努めたい。
- 自主講座は自主的学習として活動しており、年間を通して活発に実施されている。

第3章 青少年の健全育成

第2節 子ども行事の活性化

青少年教育

事 業 名	実 施 内 容	参加人数	評価
8. 幼児映画教室	○期日 5～2月（月1回） ○場所 小鳥谷ふじの花こども園 ○内容 こども園の園児に映画鑑賞の機会を提供	延べ児童数 113名	B
9. 書道教室 (2. 書道教室と 同時開催)	○期日 毎週金曜日 ○場所 小鳥谷地区センター ○内容 毛筆を中心に課題を練習し毎月作品を提出	受講生 9名 延べ受講者数 341名	B
10. 青少年地域活動 事業	①期日 5月20日（月） 場所 奥州市「歴史公園えさし藤原の郷」 内容 施設見学及び歴史学習 ②期日 7月26日（金） 場所 北上市「岩手ヤクルト工場」 矢巾町「岩手県立総合防災センター」 内容 工場見学、煙・地震体験等 ③期日 10月15日（火） 場所 滝沢市「陸上自衛隊 岩手駐屯地」 内容 施設見学、訓練体験、装備品見学	①児童 20名 ②児童 11名 ③児童 16名	B
11. 親子料理教室	○期日 9月28日（土） 場所 小鳥谷地区センター 内容 親子でスパイスカレー作り	親子4組 12名	B

成果と課題 (○: 成果、●: 課題)

- 青少年地域活動事業は小学校や学童クラブ、子ども教室と連携を図りながら実施することができた。小学校統合後も継続して実施していく。
- 親子料理教室は地元の講師を招き実施した。楽しい雰囲気の中で行うことができ、事業目的である「親子のふれあいや作ることの楽しさを知ってもらう」は達成された。

その他

推進体制

事 業 名	実 施 内 容	参加人数	評価
12. 小鳥谷地区センターコンソーシアム運営協力者会議	○期日 5月16日 ○場所 小鳥谷地区センター ○内容 センター事業及び管理・運営全般について	7名	B
13. 地域団体、定期利用団との打ち合わせ	○期日 隨時 ○内容 地域の各種団体、定期利用団体と打ち合わせ、事業の円滑化を図る。		B
14. 地区センター事業のお知らせ	○期日 4回／年 ○内容 地区センターだより「五月館」を発行し事業のお知らせや実施内容の周知を図る。		B

事業名	実施内容	参加人数	評価
15. 小鳥谷地域振興会事業への協力	<p>①総会 期日 5月 12 日 (日) 場所 小鳥谷地区センター</p> <p>②クリーンアップ作戦 期日 4月 14 日 (日) 場所 小鳥谷地区内</p> <p>③藤島のフジまつり 期日 5月 26 日 (日) 場所 小鳥谷小学校</p> <p>④小鳥谷まつり 期日 9月 16~17 日 (土日) 場所 小鳥谷地区内</p> <p>⑤藤島のフジ等選定・園内清掃など 期日 5月 12 日、6月 2 日、7月 7 日、11月 17 日 場所 藤島のフジほか小鳥谷地区内</p>	<p>①20 名</p> <p>②100 名</p> <p>③150 名</p> <p>⑤延べ 125 名</p>	B
16. 小鳥谷地区スポーツ振興会事業への協力	<p>①役員会 期日 4月 24 日 (月) 場所 小鳥谷地区センター</p> <p>②総会 期日 5月 20 日 (月) 場所 小鳥谷地区センター</p> <p>③ニュースポーツ体験会 期日 7月 7 日 (日) 場所 小鳥谷地区センター運動場</p> <p>④第 67 回小鳥谷地区町民体育大会 期日 10月 8 日 (日) 場所 旧小鳥谷中学校体育館</p> <p>⑤ビーチバレーボール大会 期日 2月 23 日 (日) 場所 小鳥谷地区センター</p>	<p>①7 名</p> <p>②10 名</p> <p>③16 名</p> <p>④60 名</p> <p>⑤9 チーム 60 名</p>	B
17. 各種団体への協力	<p>○期日 隨時</p> <p>○内容 子ども教室・用水組合等への協力。</p>		B
18. 小鳥谷地区文化祭	<p>○期日 11月 9 ~10 日 (小鳥谷地区センター)</p> <p>○内容 展示部門 (411 点) 団体参加 (書道教室、華道教室、小・中学校、子ども園、学童クラブ、子ども教室、盆栽愛好会、押し花) 一般参加 (ちぎり絵、木工品、手芸等) 舞台部門 (7 団体 1 個人・81 人) 販売部門 (若葉会・サラダボウルこずや・アトリエM) ・地域団体等による焼き鳥、焼きそば、野菜、串もち、スイーツ等の直売</p>	283 名	B
19. 小鳥谷地区新年交賀会	<p>○期日 1月 5 日 (日)</p> <p>○場所 小鳥谷地区センター</p> <p>○内容 新年の集い</p>	60 名	B
20. お休み処ニコニコ駅こずや	<p>期日 4月 ~ 3月 (毎週土曜日)</p> <p>場所 IGR小鳥谷駅舎内</p> <p>内容 お休み処の運営</p>		B

事業名	実施内容	参加人数	評価
21. 第4回小鳥の谷の雪あかり	期日 1月18日～19日 場所 小鳥谷地域 内容 雪あかり メイン会場：小鳥谷診療所前・IGR小鳥谷駅前・小鳥谷小学校入口		B
22. 小鳥谷地域づくりワークショップ	○小鳥谷小学校校舎活用ワークショップ (主催：小鳥谷地域振興会) ①期日 10月20日(日) 場所 小鳥谷地区センター ②期日 11月24日(日) 場所 小鳥谷地区センター	①一般中高校生 19名 ②一般中高校生 15名	A
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
○ 小鳥谷地区文化祭は、地区住民の文化芸術活動の発表の場・鑑賞の場として交流が図られた。 ○ 小鳥谷地域づくりワークショップについては、小学校が統合となるため、跡地利用について中高生を交えて実施した。利用に向けた意見交換会やアイディアを出し合い、教育委員会に提言いただいた。 ○ 小鳥の谷の雪あかりは雪不足のため竹灯籠で実施した。小学校の児童・保護者にもメッセージを書いてもらい展示し、好評を得た。また、甘酒の振る舞い、おでんの販売なども好評であった。			

【奥中山地区センター】

第1章 生涯学習社会の構築

第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

成人教育

A : 計画以上の成果を上げた B : 達成できた
C : おおむね達成 D : 達成できなかつた

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. いちのへ町民セミナー 奥中山コース	期日 7月～10月 計5回 内容 ①7月1日 (奥中山地区センター) ・「健康づくり栄養講座」 ・講師：明治安田生命 ②7月26日 (奥中山地区センター) ・「縄文の魅力」 ・講師：縄文インフルエンサー アベマホコ氏 ③8月30日 (現地研修) ・「八戸市国宝巡り」 ・講師：各施設職員 ④9月19日 (奥中山地区センター) ・「お茶セミナー」 ・講師：株式会社伊藤園 ⑤10月4日 (奥中山地区センター) ・「元気盛りモリ！楽しい人生を」 ・講師：ウェルネスクラブレインボ一体操で寝たきりOを目指す会 理事長 工藤昭敏氏	①34人 ②30人 ③32人 ④23人 ⑤23人 受講申込者：48人 受講延人数：142人	A
2. 大人の遠足ツアーワーク	期日 6月7日 (九戸村) 内容 小井田立体農業研究所見学 共催：奥中山読書会「北の風」	20人	A
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
○ 町民セミナーは、受講者に興味を持つてもらえるテーマの選定に努めている。全5回を予定どおり開催することができた。 ○ 開催時期や内容、周知方法等を工夫して実施した。			

高齢者教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
3. 奥中山地区ゲートボールリーグ戦	期日 5月～ (開拓記念公園) 内容 全8回のリーグ戦を行い、参加者の技術向上と親睦・交流を図った。	5チーム	A
4. ピュアクアガーデン杯ゲートボール大会	期日 1月28日 (奥中山地区センター) 内容 奥中山、近隣町のチームによる親善大会を開催し、競技を通じて相互の技術向上と親睦・交流を図った。	5チーム	A
5. 西館工務店杯ゲートボール交流大会	期日 2月18日 (奥中山地区センター) 内容 奥中山地区内のチームによる交流大会を開催し、競技を通じて相互の技術向上と親睦・交流を図った。	5チーム	A

事業名	実施内容	参加人数	評価
6. 奥中山郵便局長杯ゲートボール大会	期日 2月9日 (奥中山地区センター) 内容 郵便局と共に開催。競技を通して参加者相互の親睦、交流を図った。	6チーム	A
7. オパール大学校	期日 11月～3月 内容 JA年金友の会と共に講話や軽体操など各回テーマを決めて開催。※共催団体の事情により休止		—
8. お達者サークル	期日 毎週水曜日 9時～13時 (お達者かあ～ん) 内容 高齢者及び施設利用者を対象に、軽運動、ニュースポンツなどを実施した。	50回 延べ890人	A
9. はつらつ！あっぷ教室	期日 4月～11月 毎月第4水曜日 12月～3月 毎週水曜日 13時30分～15時 (奥中山地区センター) 内容 健康運動、ストレッチ、脳トレ運動、健康教室など町地域包括支援センターが主催し地区センターなどが後援して実施した。	23回 延べ201人	A

成果と課題 (○: 成果、●: 課題)

- ゲートボール大会は、地区内の企業等の協力も受けながら、多くの大会を開催できている。大会毎に参加チームを変えるなどし、奥中山地区以外のチームとの交流も図っている。
- オパール大学校は、共催団体の事情により本年度も休止することとなった。
- お達者サークルは、自宅にこもりがちになりやすい高齢者の外出のきっかけや体力維持、生きがいづくりの一助になっている。
- はつらつ！あっぷ教室は、夏場の参加者が少ないことが課題である。

その他

事業名	実施内容	参加人数	評価
10. ロビー展示会	①期日 4月～3月のうち随時 内容 ちぎり絵教室の作品展示 ②期日 6月18日～6月28日 ほか全6回予定 内容 中山の園つづじ 作品展 ③期日 12月3日～12月18日 内容 三愛学舎 手芸展 ④期日 1月21日～2月2日 内容 三愛学舎 卒業展	集計なし	B
11. 健康づくりの日	期日 5月～9月の毎週木曜日 (奥中山小学校校庭) 内容 毎週早朝にラジオ体操を行うことで、地域住民の健康づくりの一助となった。	19回 延べ 171人	A
12. 奥中山地区文化祭	期日 10月12～13日 (奥中山地区センター) 内容 地区民の芸術文化活動の成果を発表、展示し、広く地区民に鑑賞の機会を提供した。	集計なし	A
13. 新年交賀会	期日 1月4日 (奥中山地区センター) 内容 地域住民が一堂に会し、新年を祝いながら親睦と交流を深めた。	64人	A
14. 夢あかり	期日 1月10～12日 (奥中山高原駅周辺ほか) 内容 駅前通りを会場に、雪と灯りをテーマにイベントを開催。住民総参加で一つの目標に取り組み、地域の活性化を図った。	集計なし	A

成果と課題 (○: 成果、●: 課題)

- ロビー展は、地域の福祉施設等の作品を展示する機会としても利用していただいている。
- 奥中山地区文化祭は、作品展示部門、舞台発表部門を実施した。展示部門には、地区の住民を始め教育・保育機関、福祉施設などから多くの作品を出展していただいた。舞台発表では、地区内の団体等の日頃の活動・練習の成果を発表していただいた。

第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事業名	実施内容	参加人数	評価
15. 定期教室	期日 通年 内容 ①袋物教室（月1回） ②ちぎり絵教室（月1～2回） ③大正琴（月2回）	① 8回 延べ 53人 ② 10回 延べ 49人 ③ 16回 延べ 32人	B
16. そよかぜ学級	期日 通年 内容 概ね10人以上の参加が見込める教室や講座などを開催する場合、町が講師への謝礼金を支給する。	19回 延べ 177人	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<ul style="list-style-type: none"> ● 定期教室は、会員の高齢化などにより今後の活動の低下も懸念される。 ○ そよかぜ学級は、地区民が自主的に教室を企画し、開催をとおして技術の向上や伝承、参加者相互の交流が図られている。 			

第3章 青少年の健全育成

第2節 子ども行事の活性化

青少年教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
17. 幼児映画教室	期日 4月～2月 毎月1回 内容 奥中山みどりの森こども園に出張し、園児のための映画会実施している。	延べ 9回 270人	A
18. 青少年地域活動	○小学生の各種体験支援 期日 7月31日（奥中山地区センター） 内容 ニュースポーツ・工作体験	小学生32人	B
19. ドッジボール交流大会	期日 9月23日 一戸地区センター ※参加者が少なかったため中止		—
20. 地区子連雪あそび	期日 1月10日 奥中山高原駅前 内容 灯ろうの点灯など夢あかり事業に参加する形で実施。	30人	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 青少年地域活動では、夏休み期間を利用し小学生に様々な体験の機会を提供している。 ○ 地区子連雪遊びは、例年夢あかり事業に参加する形で実施しており、地域のイベントへの参加を通して世代間の交流や郷土愛の醸成を図っている。 			

○その他

推進体制

事業名	実施内容	参加人数	評価
21. 地区センター運営協力者会議	期日 不定期 奥中山地区センター 内容 地域内の各関係団体の代表者に集まっていただき、地区センターの活動などについて協議していただく。	開催なし	C

事業名	実施内容	参加人数	評価
22. 地域団体、地区センター利用団体等代表者会議	期日 不定期 内容 地域の各種団体や地区センター利用団体の代表者会議を開催し、公民館活動の推進等について連絡調整し、事業の円滑化を図る。	開催なし	—
23. 地区センターだよりの発行	期日 年4回 内容 「高原の風だより」を発行し、地区センターの活動や地域に関する情報発信を行った。	3回	B
成果と課題 (○ : 成果、● : 課題)			
<input type="radio"/> 日頃から各関係団体との連絡を密にし、活動状況の把握や協力体制の構築に努めている。 <input type="radio"/> 地区センターだよりは、奥中山地区センターの事業内容のほか地域の団体や話題などを掲載している。			

文化芸術・コミュニティセンター関係事業実施状況

第6章 歴史文化の継承と創造

第5節 文化・芸術活動団体の育成及び指導者の確保

自主事業

A : 計画以上の成果を上げた B : 達成できた
C : おおむね達成 D : 達成できなかつた

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 各種展示会	1 絵画教室作品展 2 田村己代治写真展 おらほの四季 3 中山の園こぶし みんなの作品展 4 明治安田生命大人の塗り絵展示会 5 新年かきぞめ大会金賞作品展示会 6 一戸高校美術部・書道部合同展 7 一戸町文化協会写真部会作品展	4/17~5/6 7/3~7/21 8/1~8/15 9/4~9/16 1/10~1/19 1/16~2/9 2/22~3/9	- B

第6節 文化・芸術施設の利用促進及び鑑賞・発表機会の拡充

自主事業

事業名	実施内容	参加人数	評価
2. 利用促進事業	<p>①ストリートキー ボード days 期日 4月 27 日～5月 6 日 会場 一戸町コミュニティセンター ロビー 内容 ゴールデンウィーク期間にあわせ、キーボードを無料開放。</p> <p>②工作コーナー「わくわく♪みんなでつくる海の世界」&展示コーナー「みんなでつくる♪アクアリウムトンネル」 期日 4月 29 日～7月 28 日 会場 一戸町コミュニティセンター ロビー 内容 ゴールデンウィーク期間にあわせて、自由参加できる工作コーナーを設置。その後、水族館トンネルをイメージしたコーナーを設置し、集まった作品を展示した。</p> <p>③ちびっこ縁日 & ストリートピアノ & ガラスにお絵かき 期日 6月 23 日 会場 一戸町コミュニティセンター ホール・ロビー 内容 グリーンマルシェに共催として縁日とストリートピアノのコーナーを設置し子供やファミリー向けイベントを実施。ロビーではガラスにお絵かきコーナーを設置。</p>	①来館者 ②来館者 ③延べ約 350 名	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
2. 利用促進事業	④公共ホール音楽活性化支援事業 「THE TROMBONE 心に響くトロンボーンの音彩」 期日 アウトリーチ 7月11日～7月12日 会場 町内小中学校 内容 コンサート 7月13日 内容 町内小中学校でトロンボーンの演奏アウトリーチ実施後最終日にホールでコンサートを開催。	④73名 (アウトリーチ) 125名 (コンサート)	
	⑤イチゲキ！プロジェクト「ステージ体験会」 期日 7月15日、8月11日 会場 一戸町コミュニティセンター 内容 演劇に係る演出・演技について学ぶワークショップを開催。	⑤8名(7/15) 6名(8/11)	
	⑥夏休み企画「ミニおばけやしき」 期日 8月3日～8月4日 会場 一戸町コミュニティセンター 会議室 内容 夏休み期間に子供やファミリー向けイベントとして実施。(有料)	⑥延べ165名	
	⑦フラワーアレンジメント教室 期日 9月14日、12月14日 会場 一戸町コミュニティセンター 内容 講師に田村望さん(町内在住)を迎える、フラワーアレンジメント教室を開催。(定員10名)	⑦参加者 9名(9/14) 8名(12/14)	
	⑧ハロウィンおえかきひろば 期日 10月12日～10月20日 会場 一戸町コミュニティセンター ロビー 内容 ハロウィンにあわせて、ガラスにお絵かきコーナーを設置。同時に、ロビーをハロウィン仕様に飾り付け、自由に子供がコスプレできるコーナーも設けた。	⑧来館者	
	⑨縄文の里音楽会 期日 11月3日 会場 一戸町コミュニティセンター ホール 内容 一戸小学校金管バンド(映像出演)、一戸中学校吹奏楽部、北桜高校吹奏楽部、二戸吹奏楽団等が出演。	⑨約150名	
	⑩わわわのステージ 期日 6月30日、9月22日、12月22日 会場 一戸町コミュニティセンター ホール 内容 町民参加型のステージ発表。民謡、舞踊、健康体操、童謡唱歌、カラオケ等	⑩延べ206名 (6月、9月、12月)	
	⑪絵画教室 期日 毎月第2・4日曜日 会場 一戸町コミュニティセンター 視聴覚室 内容 一戸町文化協会美術部部員を中心とし、絵画に親しむ会を開催。	⑪延べ113名 (4～3月)	

事業名	実施内容	参加人数	評価
2. 利用促進事業	⑫カラオケ俱楽部 期日 毎月第2水曜日、第4水曜日 会場 一戸町コミュニティセンター 視聴覚室 内容 カラオケに親しむ会を自由参加で開催。	⑫延べ 302 名	
	⑬童謡・唱歌を楽しむ会 期日 月に6回開催 会場 一戸町コミュニティセンター 視聴覚室 内容 童謡・唱歌を通じて音楽に親しむ会を開催し、参加者同士の交流を図る。毎回参加者の希望をとりながら、ピアノ伴奏に合わせて約2時間童謡、唱歌を楽しんでいる。	⑬延べ 215 名 (4~12月)	
	⑭岩手芸術祭 移動舞台公演 期日 10月19日 会場 一戸町コミュニティセンター ホール 内容 岩手県新舞踊協会から幸の会、とし美会が出演。有料開催。	⑭84名	
	⑮イチゲキ！プロジェクト「萬雷」 期日 11月23日 2回公演 会場 萬代館 内容 萬代館を舞台とした演劇公演を開催。キャストは地域の若者を中心。日常の稽古は、コミュニケーションセンターを中心に実施。	⑮180名	
	⑯ロビーDE クリスマス 期日 12月14日~12月25日 会場 一戸町コミュニティセンター ロビー 内容 クリスマス期間を利用し、お絵描きコーナーやフォトスポット等のクイズコーナーを設けた。	⑯来館者	
	⑰工作コーナー「みんなでつくる吊るし雛」 期日 2月18日~3月2日 会場 一戸町コミュニティセンター ロビー 内容 ロビーに工作用道具（折り紙等）をセットし、期間中に自由につるし雛の飾りを作ってもらい、展示した。	⑰来館者	

成果と課題 (○:成果、●:課題)

- ちびっこ縁日やお化け屋敷など、他団体と連携・協力しての事業実施が増えた。
- 公共ホール音楽活性化支援事業では、トロンボーン奏者を招いたことで演奏活動をしている子供たちにプロのアドバイスを届けることができた。
- これまでのアンケート結果を参考としながら、来場者のニーズを反映させた事業を企画した。
- 地域の特性（人材、文化財等）を活かし、舞台を一から創り上げるプロジェクトに初挑戦した。今回は演劇公演に向け、参加者同士が年齢の枠を越えて交流することができた。

成果と課題（○：成果、●：課題）

- 縄文の里音楽会では二戸吹奏楽団の協力を得て、出演者全員での合同演奏をプログラムに組み込むことができた。次回からも当事業の目玉として、続けていければと思う。
- 縄文の里音楽会は例年一戸小学校金管バンドが出演できない日程となってしまうため、開催時期を関係機関と相談し、再検討していきたい。

その他

推進体制

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 岩手県芸術文化協会講師派遣研修会～板の上あれこれ～	期日 6月12日 会場 一戸地区センター 大会議室 内容 日本舞踊における舞台について学ぶ。	3名	B
2. RICOH kintone plus セミナー	期日 8月22日 内容 サイボウズによる業務システムkintoneについての説明。業務の実例を交えて学ぶ。	1名	B
3. 職場のコミュニケーション力UP！セミナー	期日 9月11日 内容 円滑なコミュニケーションのために必要な知識を学び、グループワークによりコミュニケーションの取り方について理解を深める。	3名	B
4. 誰もが活き活きと働ける職場環境のつくり方セミナー	期日 10月4日 内容 業務効率化を図り、より良い職場環境にするための方法について学んだ。	1名	B
5 岩手県内公立文化施設協議会技術研修会	期日 10月7日 会場 陸前高田市民文化会館 内容 働き方改革における舞台管理業務の「安心・安全」について3館の事例を交え学んだ。	1名	B
6. 誰もが活き活きと働ける職場環境のつくり方セミナー	期日 10月22日 会場 二戸合同庁舎 内容 第4期岩手県文化芸術振興指針策定に係る関係機関との意見交換会	2名	B
7. 二戸地域芸術文化向上のための研修会	期日 10月26日 会場 二戸市民文化会館 内容 地域の芸術文化の活性化、文化の力で町の活性化についての講座に参加	2名	B
8. ICTセミナーで学ぶ、職場のデジタル化術	期日 11月14日 会場 二戸シビックセンター 内容 資料作成ツールを活用した編集技術を学んだ。	1名	B
9. 年末調整に向けた定額減税の留意点 実務確認セミナー	期日 12月4日 会場 オンライン受講 内容 月次減税事務の振り返り、及び年末調整に向けた留意事項について学ぶ	1名	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
10. 岩手県アートマネジメント研修①	期日 1月24日 会場 エスポワールいわて 内容 「ものがたり文化政策入門講座」を受講	1名	B
11. NPO活動に役立つ「マーケティング入門」～提案する価値を考える～	期日 2月4日 会場 オンライン受講 内容 マーケティングの視点で事業を企画する手法と重要性を学んだ	1名	B
12. 岩手県アートマネジメント研修②	期日 2月5日 会場 岩手県公会堂 内容 「新しい広場、世界への窓としての公立劇場」を受講	1名	B
13. 令和6年度地域づくりフォーラム	期日 2月7日 会場 オンライン受講 内容 地域づくりへの若者参画に関する基調講演、県内における事例紹介を聴講	2名	B
14. NPO運営基盤強化セミナー	期日 2月18日 会場 オンライン受講 内容 法人が行う登記事務について学んだ	1名	B
15. 労務セミナー	期日 2月28日 会場 二戸シビックセンター 内容 人材開発助成金、有料職業紹介、雇用管理、障がい者雇用、改正育児・介護給付について基本情報の説明を受けた。	1名	B
16. 労務セミナー	期日 3月21日 会場 いわて県民情報交流センター 内容 「改正育児・介護休業法」、「改正次世代育成支援対策推進法（次世代法）」及び「育児休業給付」について	1名	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 特に舞踊をやる機会の多い当館にとって『板の上あれこれ』はその性質を知るうえで非常に有意義な研修であった。 ○ 業務の効率化を図るために多様な研修（職場内コミュニケーション、業務システム等）に積極的に参加することができた。ICTセミナーで学んだツール活用術はすぐに業務に反映させていきたい。 ● 職場のコミュニケーションについて振り返るような研修が多かった。少数体制の現場においてはそのコミュニケーションが事業の質に直結していくので、研修を受けたのみならず、日頃より考えていくべき課題である。 ● 業務効率化のツール導入を検討したが、業務のルール作りが不足しているためにツールをどのように設定するのかが見えない状況が多かった。ツール導入前の業務改善が必要。 			

一戸町立図書館事業実施状況

第1章 生涯学習社会の構築

A : 計画以上の成果を上げた B : 達成できた
C : おおむね達成 D : 達成できなかつた

第3節 図書館の充実資料整備関係

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 資料等の収集・保存	<p>①図書資料の収集・保存 地域課題解決、また教養の向上、レクリエーション等のため、図書資料の収集と保存を図っている。</p> <p>②逐次刊行物の収集・保存 時事的な情報収集のため、新聞・雑誌・フリーページ等の収集と保存を図っている。</p> <p>③郷土資料・行政資料の収集・保存 町の情報収集機関として、積極的に郷土・行政資料及び地図の収集と保存を図っている。</p> <p>④視聴覚資料の収集・保存 地域関連資料、教養の向上およびレクリエーション等のため、視聴覚資料の収集を図っている。</p>	-	B
2. 資料提供サービス	<p>①貸出・閲覧等の資料提供 情報提供機関として、利用者の求める資料の提供により、利用者の課題の解決や教養の向上、レクリエーション活動への支援を図っている。</p> <p>②予約・リクエストサービス 利用者が要求する情報を確実に提供するため、予約・リクエストを受け、新規購入・相互貸借等により利用者に資料を提供する。</p> <p>③図書館間資料相互貸借サービス 図書館ネットワークを通じ、当館に所蔵しない資料について、他館より借受けて利用者に提供するほか、当館から他館への貸出も行う。</p> <p>④レファレンスサービス 利用者から各種問合せに応じ、資料の提供を通じて問題解決への協力をを行う。</p> <p>⑤障がい者サービス 町民を対象に、読書活動及び図書館の利用に困難がある方への支援（個人宅配など）を行う。また大活字本等の収集・提供を行う。</p> <p>⑥出前貸出サービス「そよかぜ号ミニ」 町内 24 サービスポイントを毎月 2 日間巡回し、介護や保育施設などに本の配達を行う。</p> <p>⑦団体貸出 町内の団体利用者に（学校、施設等）に図書を貸出す。</p>	随時 4月～3月 月2日巡回 随時	B
3. リサイクル市 (町立図書館除籍資料等リサイクル事業)	令和6年度は実施なし	-	-
4. 蔵書点検	<p>○期日 6月3日～6月10日</p> <p>○内容 資料の適正管理のため蔵書の一斉点検を行った。</p>	-	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
5. 町内図書蔵書情報共有化事業	町立図書館、地区センター図書室、御所野縄文博物館及び小中学校図書館の蔵書情報の共有化し、図書資料の有効活用を図っている。	-	B
成果と課題（○:成果、●:課題）			
○ 蔵書点検の実施により適正な資料管理を図ることができた。 ○ 医療、介護・福祉、教育・子育て支援等の最新資料を適宜収集することで、利用へのニーズに応えている。 ● 郷土資料の収集・整理・登録を進め、資料管理を適正に行いたい。			

利用促進関係

事業名	実施内容	参加人数	評価
6. 連携関係	①地区センター図書室との連携 資料の入れ替えや図書室の環境整備、文化祭での資料展示等を行う。 ②読書グループとの連携 資料や小道具の貸与、各種研修会・補助金等の情報提供を行う。 ③学校図書館との連携 ・図書館環境整備（毎月1回） ・資料展示、システム指導などの支援。 ・職場体験・施設見学・調べ学習受入。 ④町役場との連携 広報編集委員や町民セミナー等での資料展示。	-	B
7. 出前図書館	町内外の教育施設等に出向き各種事業を行った。 ブックトーク 6件 北日本図書館連盟協議会 事例発表 1件 小鳥谷ふじの花こども園 読み聞かせ 1件	-	B
8. パソコンコーナー 開放サービス、Free Wi-Fi	情報収集ツールとしてのインターネットや、職業訓練等での練習としてパソコンの開放。また一戸町Free Wi-Fiの設置により、利用の便を図っている。	-	B
9. 図書館広報	各種媒体を通じた広報活動で利用促進を図った。 ①一戸町広報誌「いちらのへ」 ②図書館広報紙「ぶっくんレター」 ③一戸町定例記者懇談会 ④新聞各社、カシオペア連邦イベント情報 ⑤ホームページ、SNS ⑥コミュニティセンターロビーディスプレイ ⑦ラジオ出演（カシオペアFM） ⑧fam公式サイト「famweb」	-	B
10. ブックスタート事業	①ブックスタート ○期日 年5回 総合保健福祉センター ○内容 幼児期から親子で読書に親しむ環境づくりの形成を目的に、離乳食教室時（3～5ヶ月児とその保護者）に職員が出向き、絵本2冊を贈りその場で読み聞かせを行う。	① 21組	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
10. ブックスタート事業	②ブックスタートプラス 期日 隔月第1水曜日 総合保健福祉センター 内容 ブックスタートのフォロー事業として、親子で読書に親しむ環境づくりの形成を目的に、3歳児健診時に図書館職員が出向き、絵本1冊を贈る。また、ブックスタート事業のアンケートをとり事業効果を検討する。	② 43組	
11. 第46回一戸町読書に関する作文コンクール	○期日 募集 8月1日～9月13日 表彰式 12月6日 ○内容 読書を通じての体験作文及び感想文を広く募集し、入賞作品文集『そよかぜ』を発行。読書活動の推進を図った。	応募点数 56点 入選点数 33点	B
12. 一戸町立図書館 P O P コンテスト 2024	○期日 募集 8月1日～9月13日 ○内容 P O P 作品を募集し読書活動の推進を図った。入選者は全国コンテストへ推薦する。	応募点数 53点 入選点数 27点	B
13. 地域おこし事業	①柴田産業とつくってまなぼう～林業とSDGs～ ○期日 6月29日 一戸町コミュニティセンター ○内容 柴田産業・柴田君也氏を講師に林業とSDGsに関する講話と廃材を利用した工作の作成。 ②お仕事体験 fire fighter～消防士のおしごと～ ○期日 9月1日 一戸町コミュニティセンター ○内容 一戸分署長・漆原昭洋氏を講師に、防災に関する講話と仕事（煙体験、放水体験など）を体験した。 ③図書館フィールドワーク in 姉帶城 ○期日 10月6日 姉帶城跡、御所野縄文博物館 ○内容 世界遺産課菅野紀子氏と一戸町文化財調査委員高橋正一氏を講師に姉帶城跡のフィールドワークを行った。また博物館収蔵の出土品を見学した。 ④ミズキ団子づくり ○期日 1月13日 一戸町コミュニティセンター ○内容 地域の受け継がれてきた伝統行事を体験するため、食生活改善推進協議会と協力しミズキ団子づくりを行う。 ⑤絵本 de クッキング ○期日 2月9日 一戸町コミュニティセンター ○内容 読み聞かせする絵本に出てくる料理を、食の匠・柴田照子氏を講師に調理する。	① 27名 (付添含 37名) ② 30名 (付添含 52名) ③ 15名 ④ 20名 (付添含 25名) ⑤15組 45名	A
14. サイエンス講座	①第19回親子 de サイエンス図書館 ○期日 7月27日 一戸町コミュニティセンター ○内容 観光天文台台長、副台長を講師に、テーマに関する講話と工作などを作成した。 ②わくわく♪サイエンス図書館 ○期日 ア. 12月21日一戸町コミュニティセンター イ. 3月20日一戸町コミュニティセンター ○内容 幼少期から科学分野への興味関心を持ち観察し調べる力・考える力を養うことを中心に、幼児向けの実験や工作を行う。	① 17名 (付添含 27名) ②ア. 25名 (付添含 36名) イ. 6名 (付添含 9名)	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
15. 第6回子ども司書講座	○期日 8月1日 一戸町コミュニティセンター ○内容 小学3～6年生を対象に、読書活動のリーダーとして活躍できる児童の育成を図った。中高生ボランティアが2名お手伝いで参加した。	8名	B
16. 夏休み自由研究応援隊！	○期日 夏季休業中 随時受付 図書館内 ○内容 夏休み期間中に、自由研究の支援（調べ方、まとめ方等）を行った。また「図書館で調べる学習コンクール」入賞作品の複製展示や応募者への支援を行った。	全国入賞1名	B
17. 映画会	①としょかん映画会ぷらす 一戸町コミュニティセンター ○期日 毎月第1土曜日 ○内容 幼児から小学生向けの映画会を実施。また上映の他、映画の内容に関連した簡単な工作や読み聞かせなどを行う。 ②くらやみシアター 一戸町コミュニティセンター ○期日 8月3日 ○内容 夏休みに「こわいはなし」をテーマに、絵本等の読み聞かせと、映画会を実施。 ③冬休み直前特別☆としょかん映画会 ○期日 12月7日 ○内容 小学生向け映画会を実施。 ④春休みおはなしシアター ○期日 3月1日 ○内容 春休みに、幼児から小学生向けの映画とおはなし会を実施。 ⑤リーヴルシネマ 一戸町コミュニティセンター ○期日 年6回 ○内容 一般向けの映画会を実施。	①延べ140名 ② 48名 ③ 90名 ④ 54名 ⑤延べ212名	A
18. とことこおはなし会	○期日 毎月第3金曜日 地域子育て支援センター のびのび ○内容 0～3才児を対象に、絵本や紙芝居の読み聞かせと手遊びを実施した。	①延べ99名	B
19. 読書週間行事	①こども図書館まつり ○期日 4月23日～5月12日 図書館内 ○内容 こどもの読書週間に合わせ、プレゼント企画（児童のみ）やおはなし会、ボードゲーム、ナゾトキイベント等を実施。 ②読書スタンプラリー ○期日 10月1日～12月28日 図書館内 ○内容 読書に親しむことを目的にスタンプラリーを開催し景品をプレゼント。 ③ぬいぐるみおとまり会 ○期日 11月16～17日 一戸町コミュニティセンター ○内容 おはなし会とぬいぐるみのおとまり会を実施。翌日迎えに来た児童へミニアルバムを手渡した。 ④ボードゲームであそぼう！ ○期日 2月2日 一戸町コミュニティセンター ○内容 ボードゲームの体験会を実施。	①延べ127名 ボードゲーム 12名 工作+おはなし会 2名 ナゾトキ 34名 ②延べ273名 アンケートより ③ 7名 おはなし会 12名 ④ 10名	A

事業名	実施内容	参加人数	評価
20. 朗読教室	○期日 ア. 前期全7回 イ. 後期全7回 一戸町コミュニティセンター ○内容 朗読アドバイザーの杉山ひさ子さんを講師に、朗読技術や発声方法などを学び、発表会で成果を披露する。	ア. 6名 イ. 8名	A
21. シニア向けマネー講座	○期日 3月28日 一戸町コミュニティセンター ○内容 ライフプラン支援として、シニア向けマネー講座を実施。	16名	A
22. 図書館ホームページ説明会	○期日 4月29日 一戸町コミュニティセンター ○内容 利用者自身のスマホやタブレットを使用した当館ホームページへのアクセス、本の延長や予約などの方法の説明会。	7名	B
23. 地域連携	①「オレンジカフェさくら」での出前図書館 (オレンジカフェさくらの会・一戸町地域包括支援センター主催) ア. オレンジカフェ in コミュニティセンター ○期日 毎月第3土曜日一戸町コミュニティセンター ○内容 認知症カフェ参加者へ向け、読み聞かせや関連図書の紹介を実施。貸出も可能とし、図書館利用促進に繋げる。 イ. オレンジカフェ地域巡回型 ○期日 每月1回 町内各地区を巡回 (3・4月は調整のため実施なし) ○内容 認知症カフェ参加者へ向け、読み聞かせや関連図書の紹介を実施。貸出も可能とし、図書館利用促進に繋げる。 ②「ふれあい・いきいきサロン」での出前図書館 (一戸町社会福祉協議会主催) ○期日 年2回 榛山地区 ○内容 参加者へ向け、読み聞かせや工作を実施。長期貸出し利用促進に繋げる。 ③「ぬいぐるみおとまり会 in 御所野縄文博物館」 (御所野縄文博物館主催) ○期日 6月22日 御所野縄文博物館 ○内容 読み聞かせなどを行った。 ④「こども食堂ひなたぼっこ」での出前図書館 (奥中山高原クラブ主催) ○期日 年2回 奥中山地区センター ○内容 読み聞かせを実施。貸出も可能とし、図書館利用促進に繋げる。 ⑤「町民セミナー」での出前図書館 (一戸町教育委員会主催) ○期日 年4回 一戸地区センター ○内容 会場内に図書展示を実施。貸出も可能とし、図書館利用促進に繋げる。 ⑥戦争と暮らし回顧展、平和の鐘を鳴らす会 (一戸ユネスコ協会主催) ○期日 展示：7月27日～8月31日 図書館内 関連事業：8月10日 一戸町コミュニティセンター ○内容 館内にて戦争体験記のパネル展示および、「平和の鐘を鳴らす会」実施に協力した。	① ア. 341名 イ. 188名 ② 17名 ③ 11名 ④ 80名 ⑤ 93名 ⑥ - 名 関連事業 73名	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
23. 地域連携	<p>⑦多世代交流フェスティバル 2024 (一戸町社会福祉協議会主催) ○期日 7月 20日 いちボラ+ ○内容 防災に関する本やボードゲームの展示を行った。</p> <p>⑧岩手森林インストラクター会研修会 (岩手森林インストラクター会主催) ○期日 10月 12日 一戸町コミュニティセンター ○内容 当館所蔵『こつなぎ』の上映を実施。</p> <p>⑨平和を願う講演会及び映画会 (一戸ユネスコ協会主催) ○期日 2月 1日 一戸町コミュニティセンター ○内容 当館所蔵『父と暮せば』の上映を実施。</p> <p>⑩「いちのへの宝展」での資料展示 (一戸ユネスコ協会主催) ○期日 2月 14~16日 一戸町コミュニティセンター ○内容 郷土に関する資料の展示。</p> <p>⑪「結カフェお話会」 (結カフェ主催) ○期日 月1回 結カフェ ○内容 従業員を対象に読み聞かせを実施。</p> <p>⑫「里親制度啓発展示」 (里親支援センターぜんゆう主催) ○期日 2月 6日~2月 18日 ○内容 里親制度に関する資料の展示。</p> <p>⑬「空き不動産活用フォーラム」(地域整備課主催) ○期日 3月 7日 一戸町コミュニティセンター ○内容 空き不動産、空き家活用、移住、探求学習などに関する資料の展示。</p>	⑦ 60名 ⑧ 36名 ⑨ 80名 ⑩ 196名 座談会 80名 ⑪のべ 81名 ⑫ - 名 ⑬ 100名	
24. 各種企画展示	<p>①Library&Community (一般書企画展示) ○期日 常設 (隔月でテーマ変更) ○内容 社会問題や時事、暮らしや生涯学習に役立つテーマの資料展示。</p> <p>②おしごとサポート (一般書企画展示) ○期日 常設 (隔月でテーマ変更) ○内容 ビジネス・産業支援の資料展示及び、就職支援情報を収集、掲示。</p> <p>③文学の森 (一般書文学企画展示) ○期日 常設 (隔月でテーマ変更) ○内容 文芸書のテーマ展示。</p> <p>④ティーンズ・ラボ (中高生向け企画展示) ○期日 常設 (隔月でテーマ変更) ○内容 中高生向けの資料展示。</p> <p>⑤It'sニュース速報展示 ○期日 常設 (毎日変更) ○内容 日々の社会問題及び関連資料の展示。</p> <p>⑥HOT TOPIC 短期テーマ展示 ○期日 常設 (随時変更) ○内容 社会問題に関連する資料の展示。</p> <p>⑦ぶっくん研究室 (児童書企画展示) ○期日 常設 (隔月でテーマ変更)</p>	-	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
24. 各種企画展示	<p>○内容 調べ学習資料の展示。</p> <p>⑧ちいさな本だな（絵本展示） ○期日 常設（隔月でテーマ変更） ○内容 絵本の資料展示。</p> <p>⑨児童展示 ○期日 常設（隔月でテーマ変更） ○内容 小学生を対象に児童文学を展示。</p> <p>⑩児童季節展示 ○期日 不定期 ○内容 行事の絵本や児童文学等を展示。</p> <p>⑪この本よんだ？（良書展示） ○期日 常設（通年） ○内容 児童向けの良書を複数用意し展示。</p> <p>⑫絵本セット貸出 ○期日 常設（通年） ○内容 司書おすすめの本をテーマ毎にセット貸出</p> <p>⑬原作 d e 先読み（話題本展示） ○期日 常設（随時） ○内容 映画やドラマの原作本展示。</p> <p>⑭書評展示 ○期日 常設（随時） ○内容 新聞書評欄の記事とともに資料を展示。</p> <p>⑮特別展示 ○期日 不定期 ○内容 利用者からの需要が見込まれる図書や県立図書館巡回展などを展示。 正月は「本の福袋」を貸出。</p> <p>⑯郷土の先人 ○期日 常設（通年） ○内容 三浦哲郎、舟越保武などの資料展示。</p> <p>⑰御所野遺跡 ○期日 常設（通年） ○内容 御所野遺跡、北海道・北東北の縄文遺跡群に関する資料の展示。</p> <p>⑱世界遺産 ○期日 常設（通年） ○内容 世界遺産に関する本の展示。</p> <p>⑲いわ 100&いわ 100 きっず ○期日 常設（通年） ○内容 県教育委員会で発行したおすすめ図書リストに掲載の本の展示。</p>		

成果と課題（○：成果、●：課題）

- 地域おこし事業や映画会、朗読教室などの事業参加者が増え、図書館の利用促進に繋がっている。
- 外部団体からの連携依頼が増え、読み聞かせや映画上映、図書配本（貸出・展示）を行った。運営の周知や図書館の利用促進に繋がっている。
- 学校図書館連携事業では、小学校の学校司書配属もあり学習支援に力を入れた図書館づくり進められている。今後も学校教育課と連携協力を図り事業を行いたい。
- 46年続いた「読書に関する作文コンクール」が終了したが、「POPコンテスト」等で今後も読書活動の推進を図りたい。
- 今後も利用者ニーズ、行政施策を勘案しながら図書館運営を行いたい。
- 読書バリアフリー（読書に障がいがある方や来館困難な方）に対応するため、障がい者サービスの周知を強化する。

○その他

推進体制

事 業 名	実 施 内 容	参加人数	評価
25. 二戸地区社会教育部会別会議	○期日 5月13日、2月7日 二戸地区合同庁舎 ○内容 二戸管内の公共図書館の情報交流を行った。	1名	B
26. 一戸町学校司書・図書館業務担当者等研修会	○期日 6月5日 一戸中 2月13日 一戸町立図書館 ○内容 学校司書と情報交換を行った。	3名 5名	B
27. 管内子どもの読書活動推進連絡会議	○期日 5月21日 かるまい文化交流センター ○内容 子どもの読書活動の振興について学んだ。	1名	B
28. 図書館専門研修会等	①図書館等初任職員研修会（オンライン） ○期日 6月13日 ○内容 著作権やレファレンスについての研修。 ②北日本図書館大会（オンライン） ○期日 6月20日～21日 ○内容 図書館の地域貢献についての研修。 ③図書館職員等中堅職員研修（オンライン） ○期日 7月19日～8月2日配信 ○内容 中堅職員のための図書館研修。 ④管内ボランティア等研修会 ○期日 9月6日 二戸地区合同庁舎 ○内容 読書ボランティアについて学ぶ。 ⑤レファレンス協同データベース事業担当者研修会（オンライン） ○期日 9月12日 ○内容 レファレンス事例登録方法等を学ぶ。 ⑥市町村立図書館等職員専門研修（オンライン） ○期日 9月12日 ○内容 国立国会図書館検索ツールの研修会。 ⑦読書バリアフリーをすすめるために（オンライン） ○期日 8月～9月配信 ○内容 読書バリアフリーについての研修会。 ⑧障害者サービス担当職員養成講座（オンライン） ○期日 7月～9月配信 ○内容 障害者サービスの基礎知識を学ぶ。 ⑨図書館職員・図書館協議会委員合同研修会 ○期日 10月2日 岩手県立図書館 ○内容 図書館と書店の役割について学ぶ。 ⑩北日本図書館連盟協議会（事例発表） ○期日 12月13日 宮城県図書館 ○内容 地域おこし事業について事例発表を行う。 ⑪岩手県公共・大学・専門図書館等連絡協議会 ○期日 年2回 岩手県立図書館 ○内容 関係機関との連携協力、情報共有を図る。 ⑫岩手県図書館研究事業 ○期日 年1回 岩手県立図書館 ○内容 関係機関との連携協力、情報共有を図る。	① 1名 ② 1名 ③ 3名 ④ 2名 ⑤ 1名 ⑥ 1名 ⑦ 1名 ⑧ 1名 ⑨ 1名 ⑩ 5名 ⑪ 1名 ⑫ 1名	B

事 業 名	実 施 内 容	参加人数	評価
29. 業務 関連 セミナー・研修会	<p>①認知症関連セミナー ○期日 6月27日 萬代館 ○内容 認知症当事者による講演を聴講。</p> <p>②こどもの本ブックフェア ○期日 7月20日 岩手県民会館 ○内容 児童書の展示会に参加。</p> <p>③職場のコミュニケーションupセミナー ○期日 全2回 ○内容 コミュニケーションやアンガーマネジメントについて学ぶ。</p> <p>④職場のデジタル化術 ○期日 全2回 二戸市シビックセンター ○内容 統計処理やプレゼン資料について学ぶ。</p> <p>⑤認知症見守り声かけ訓練 ○期日 10月15日 ○内容 認知症の方への対応訓練に参加する。</p> <p>⑥認知症VR体験会 ○期日 11月21日 ○内容 認知症VR体験会に参加する。</p> <p>⑦全国図書館大会長崎大会（オンライン） ○期日 11月～12月配信 ○内容 図書館業務に関するフォーラムの聴講。</p> <p>⑧北日本図書館連盟協議会（オンライン） ○期日 12月13日 ○内容 図書館取り巻く環境を理解し、今後の在り方について思考を深める研修会の聴講。</p> <p>⑨文学の国いわて塾（オンライン） ○期日 1月25日 ○内容 岩手にゆかりのある作家の講演会の聴講。</p> <p>⑩市町村立図書館専門研修（オンライン） ○期日 1月29日 ○内容 図書館建築に関する研修の聴講。</p> <p>⑪国立国会図書館児童文学連続講座（オンライン） ○期日 1月配信 ○内容 児童サービスの幅広い知識の講座の聴講。</p> <p>⑫岩手県読書をすすめるつどい ○期日 2月8日 アイーナ ○内容 「岩手の読書週間」の主要行事の講演聴講、 読書推進運動功績者の表彰に参加する。</p> <p>⑬図書館総合展（オンライン） ○期日 2月配信 ○内容 埼玉県の学校司書のイチオシ本ランギングの 聴講。</p> <p>⑭JPIC『この本読んで!』（オンライン） ○期日 全2回3月配信 ○内容 『この本読んで!』関連講座の聴講。</p>	<p>① 1名</p> <p>② 1名</p> <p>③ 2名</p> <p>④ 1名</p> <p>⑤ 1名</p> <p>⑥ 1名</p> <p>⑦ 2名</p> <p>⑧ 4名</p> <p>⑨ 1名</p> <p>⑩ 1名</p> <p>⑪ 2名</p> <p>⑫ 1名</p> <p>⑬ 1名</p> <p>⑭ 2名</p>	B
30. 先進地視察研修	二戸地区図書館職員等研修会 ○期日 8月21日 盛岡市立図書館ほか ○内容 先進地図書館研修。また、二戸管内図書館職員との情報交流を図る。	2名	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
31. 館内研修	○期日 毎月月末整理日 ○内容 職員が講師をつとめ、図書館サービスやレンタルなどをテーマに研修を行い、講師側・受講側ともに研鑽を図る。	8名	B
成果と課題（○:成果、●:課題）			
○ 図書館業務関連だけではなく、運営に関わる研修にも積極的に参加し、業務に生かすことができた。 ○ 北日本図書館連盟協議会では、当館の地域おこし事業について事例発表を行い、PRを図ることができた。 ○ 館内研修では鳥越地区での実地研修を行い、歴史や文化財などについて深く知る機会となった。 ● オンライン研修の時間を業務中に設定するよう努めたが、他業務との兼ね合いもあり難しい場合もあった。業務に支障のないよう計画を図りたい。			

世界遺産事業実施状況

第5章 世界遺産「御所野遺跡」を守り伝えるまちづくりの推進

第1節 次代への継承

A : 計画以上の成果を上げた B : 達成できた
C : おおむね達成 D : 達成できなかつた

事業名	事業内容	参加人数等	評価
1. 縄文遺跡群世界遺産本部事業	内容 縄文遺跡群の保存・活用に関し必要な事項を実施するため、4道県14市町で構成。 ①縄文遺跡群世界遺産協議会 8/5、10/18、2/26 ②縄文遺跡群世界遺産専門家委員会 11/7~8、3/13~14 ③遺産影響評価報告 8/31 報告 ④縄文フォーラム 10/14 名古屋市、1/26 東京都 2/11 秋田市	①2名、1名、2名 ②各2名 ③ー ④各1名	B
2. 景観形成支援事業	内容 バッファゾーン内建造物の屋根等の塗り替えに対する補助	申請なし	ー
3. 御所野遺跡保存整備事業	内容 ①縄文里山づくり事業 繼続 ②史跡整備 復元堅穴建物修理（完了） 10/26 復元堅穴建物修理現地説明会 ③施設の補修管理 博物館東側木床修繕（完了）、つり橋屋根修繕（完了）、園路柵修繕（完了）、浄化槽設備修理（完了）	年間	B
4. クリーンデー	期日 ①4/20 ②11/9 内容 ボランティアや町内各団体、住民等による御所野縄文公園の清掃活動	①170名 ②200名	A
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○ 秋のクリーンデー開催にあたっては、町観光協会主催のツアー募集も行い、町外から参加するきっかけを作ることができた。			
○ 復元建物修理にあたっては、現地説明会を行い公開することができた。			

第2節 世界遺産としての価値の理解促進

事業名	事業内容	参加人数等	評価
5. 調査研究事業	期日 ①5/12、13 ②8/30 ③2/23、24 内容 縄文時代の植物利用について、金沢大学などとの共同研究を実施（～R6）	年間	B
6. 調査成果発表会	期日 2/22 御所野縄文博物館 内容 御所野遺跡や町内の文化財の調査研究についての成果発表	112人	A
7. わくわく文化財セミナー（共）	期日 ①8/17 ②9/21 ③12/14 ④1/18 ⑤3/22 内容 縄文文化やそのほかの文化財について学ぶセミナー いちのへ縄文里山クラブと共に	①36名 ②21名 ③8名 ④19名 ⑤13名	A
8. ボランティア活動支援	内容 公園に関わるボランティア団体の活動を支援。 ①いちのへ縄文里山クラブ研修会 11/10、11 崎山貝塚、陸前高田市博物館、橋野高炉跡、花巻市博物館 ②北東北縄文ボランティア交流会 11/14 大湯ストーンサークル館 ③北海道ガイド交流会 12/7 洞爺湖町 ④縄文遺跡群世界遺産ガイド養成講座 青森市	①10名 ②3名 ③3名 ④5名	B

事業名	事業内容	参加人数等	評価
9. ガイド養成講座	期日 3/23 内容 御所野遺跡をガイドするため必要な知識やノウハウを習得するための講座を開催	15名	B
10. ガイドアプリ活用	期日 年間 内容 タブレット貸出による御所野遺跡ガイドアプリ利用	貸出 90台	B
11. ごしょの縄文プログラム	内容 里山を活用した縄文のものづくり体験や町内の歴史文化を学ぶプログラムを実施 ①まるっと里山プログラム（年10回） ②てづくりプログラム（随時） ③ごしょの de まなびプログラム（年13回予定）	①65名 ②901名 ③109名	B
12. 登録3周年記念事業	内容 世界遺産登録3周年を記念し、あらためて御所野遺跡の価値の浸透を図るため、若年層や家族連れの集客を目標とするイベントを開催した。 ①ごしょのおたから FESTA 2024 5/3～5 ②ごしょのおたから FESTA NEXT 7/27	①1,822名 ②約600名	A
13. 御所野縄文WEEK（共）	期間・場所 10/19～10/27 御所野縄文公園ほか 内容 御所野遺跡や縄文文化の魅力を発信するため、二戸地域振興センター等と連携して実施。 ①10/19 世界遺産登録3周年記念企画展（～11/24） ②10/19 企画展ギャラリートーク ③10/19 いわて世界遺産まつり（～10/20） ④10/19 工藝はさわらないとわからない（～10/20） ⑤10/20 ハッピーウォーク2024 ⑥10/22 浄法寺漆パネル展示（～10/27） ⑦10/22 縄文給食 ⑧10/23 藍染め体験 ⑨10/24 町民セミナー小鳥谷コース「岩手の縄文研究は小鳥谷から始まった！」 ⑩10/25 公園夜間開放 ⑪10/25 御所野遺跡ナイトツアーブラント ⑫10/26 企画展ギャラリートーク ⑬10/26 復元竪穴建物修理現地説明会 ⑭10/26 IBCラジオ神山浩樹ののびのびサタデー「縄文ウォーク」 ⑮10/27 秋の縄文里山観察会 ⑯10/27 御所野縄文博物館で記者体験	①326名 ②4名 ③718名 ④718名 ⑤6名 ⑥791名 ⑦732名 ⑧3名 ⑨27名 ⑩15名 ⑪9名 ⑫10名 ⑬10名 ⑭約150名 ⑮2名 ⑯4名	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ 他の研究機関と共同で植物利用に関する研究を行うことができた。 ● 御所野縄文公園入場者数は横ばいだが、展示室観覧者は減少しており、新たな調査成果などの情報発信を続けていく必要がある。 ● ボランティア登録者が不足している。			

第3節 新たな交流・産業の創出

事業名	事業内容	参加人数等	評価
14. 岩手県3つの世界遺産連携	内容 県内3つの世界遺産が連携して共同事業を実施 ①いわて世界遺産まつり in 御所野遺跡 10/19、20 ②児童交流会 8/29 釜石市 ③ガイド交流会 7/3 御所野遺跡 ④「岩手の世界遺産」教員現地研修 8/6	①来場者 718名 ②児童 16名 ③参加 29名 ④参加 7名	A

事業名	事業内容	参加人数等	評価
15. 世界遺産連携	内容 他の世界遺産との連携事業を実施 ①世界遺産サミット 9/27、28 東京都 ②いい遺産プロジェクト参加 11/9 (秋のクリーンデー 再掲) ③世界遺産子どもサミット 11/29	①職員 1名 ②(200名) ③児童 10名	B
16. 二戸地域振興センター連携	内容 二戸地域振興センター等と協力して、八戸、鹿角地域との連携事業を実施 ①縄文周遊発掘スタンプラリー 7/27～11/30 ②ボランティア交流会 11/14 鹿角市 (ボランティア活動支援 再掲)	①参加者 481名 応募者 146名 ②(3名)	B
17. 教育旅行誘致	内容 修学旅行誘致のため、旅行会社等へ働きかけを行う (商工観光課) 8/6～9 函館、苫小牧、札幌	職員 2名	B
18. SNS情報発信事業	内容 SNSを活用しリアルタイムに情報を発信 X、instagram、facebook、youtube	年間	B
19. 世界遺産PRキャラクター活用事業	内容 ごしょどん、ごしょたんのデザイン使用及び着ぐるみ貸出	デザイン使用 19件 着ぐるみ貸出 9件	B
20. 世界遺産活用支援	内容 民間による世界遺産や御所野縄文公園の活用を支援 ①岩手高等教育コンソーシアム地域研究推進委員会 「御所野縄文公園スタディトリップ」 9/22 ②縄文の町リレーマラソン開催 11/3 ③クリーンツーリズム in 御所野遺跡 11/9	①51名 ②約 200名 ③5名	B
21. その他PR	内容 各種機会を活用し御所野遺跡のPRを実施 ①新採用職員御所野遺跡説明会 7/26	①町職員 6名	B

成果と課題 (○ : 成果、● : 課題)

- 岩手県内3つの世界遺産との連携の枠組みが明確になり、交流を図ることができた。
- 秋のクリーンデーを国内他の世界遺産との共同事業「いい遺産プロジェクト」に位置づけて実施することができた。
- 他分野及び他業種との連携により、さらに御所野縄文公園をPRしたい。

文化財関係事業実施状況

第6章 歴史文化の継承と創造

第1節 文化財の調査・保護

A : 計画以上の成果を上げた B : 達成できた
C : おおむね達成 D : 達成できなかつた

事業名	実施内容	参加人数等	評価
1. 文化財の調査	内容 町内に所在する文化財の調査	年間	B
2. 町内遺跡発掘調査事業	内容 町内遺跡の開発に伴う発掘調査	発掘調査 1件 (馬場平遺跡 6/20~8/9) 試掘調査 7件 工事立会 2件	B
3. 指定文化財等の保護	内容 指定文化財の保護 町内文化財パトロール	随時	B
4. 収蔵資料管理システム整備	内容 御所野縄文博物館収蔵資料及び民俗資料について、クラウド型管理システムを導入、整備を行う 9/30 データ移行完了 3月末までデータ整理		B
5. 神楽公開	期日 6/16 内容 国指定重要文化財「旧朴館家住宅」において町内に伝わる郷土芸能を披露する 出演 小鳥谷七ツ踊り、高屋敷神楽、小友神楽、田中新山社神楽、小鳥谷小児童による住宅ガイド	100名	A
6. 権現様パレード	期日 8/26 内容 各芸能団体の所有する権現様を一堂に会し、一戸まつり 2日目の神輿渡御に参加	31名	B
7. 第50回二戸地区郷土芸能発表会(共)	期日・場所 11/17 軽米町	出演： 高屋敷神楽保存会	B
8. 第46回一戸町郷土芸能祭	期日・場所 11/24 コミュニティセンター 内容 郷土芸能を継承するため発表の機会を設け、地域住民に理解を深め、伝承者の技術向上を図る	138名	B
9. 一戸町郷土芸能保存協議会への活動支援	期日 ①役員会 5/18、8/2、10/11 ②総会 6/8 内容 郷土芸能団体の交流・親睦を図り、各種事業を実施し、郷土芸能の活性化と後継者育成に努める	①各職員 2名 ②職員 2名	B
10. 無形民俗文化財保存事業	内容 各地域に伝わる無形民俗文化財を後世に継承するため、各団体に補助金を交付	交付決定 7団体	B
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
○ 神楽公開では、小鳥谷小学校の協力により想定以上の参加人数を集めることができた。			
● 郷土芸能保存会への活動支援の充実（上演機会の増加、周知を広げる、備品の整備など）			

第2節 重要文化財旧朴館家住宅の保存修理とまちづくり

事業名	実施内容	参加人数等	評価
11. 旧朴館家住宅保存修理委員会	日時 10/4 第1回委員会 内容 文化財建造物の専門家等で組織し、旧朴館家住宅保存修理に係る方針等に関する意見を求める	委員 8名 オブザーバー 2名	B
12. 旧朴館家住宅保存修理事業	期日・内容 ①6/16 小鳥谷小児童によるガイド ②10/10 保存修理現地視察研修（遠野市）	①児童 21名 ②13名	B
13. 朴館家住宅保存会への活動支援	日時 ①5/22 総会 ②6～3月 火燃やし 内容 住宅の保存活動を行う団体の活動を支援する	①会員 9名 職員 3名	B
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
○ 神楽公開に合わせて旧朴館家住宅ガイド活動を実施し、児童・地域住民・ボランティアと連携し、旧朴館家住宅への理解を広げる教育普及活動を実施することができた。			
● 旧朴館家住宅の保存管理のため、敷地の公有化を進める。			

第3節 文化財愛護の機運向上

事業名	実施内容	参加人数等	評価
14. 文化財普及活動	内容 さまざまな広報手段を活用し文化財を周知する ①広報いちのへ掲載 ②ホームページ更新	①計 12回 ②随時	B
15. 地域住民との連携	内容 地域住民やボランティア団体と連携し、文化財の保護活動を行う ①国指定史跡奥州街道 ②国指定根反の大珪化木 ③国指定藤島のフジ ④国指定旧朴館家住宅 ⑤県指定有形文化財西方寺毘沙門堂 ⑥町指定姉帶城跡	①越田橋町内会、八幡町町内会、小性堂町内会、高屋敷町内会、関屋町内会、自然と歴史の会 ②根反地区婦人会 ③藤島のフジを守る会 ④朴館家住宅保存会、駒木町内会 ⑤西法寺町内会 ⑥姉帶地区住民	B
16. 奥州街道ウォーク等への協力	期日 ①IGR 銀河鉄道観光主催「歴史街道を歩く 2024」 4/21、5/19、6/16、9/15、10/20 計5回 ②いちのへ縄文里山クラブ主催「奥州街道入門」 1/26、2/16、3/1 計3回 内容 資料作成や街道沿いの文化財解説などの協力	①延べ 184名 ②延べ 94名	A
17. 南部「御城印」プロジェクトへの連携参加	期日・場所 年間(7/6~10/31 九戸城との割印実施) 御所野縄文博物館ミュージアムショップ 内容 南部氏ゆかりの城館である姉帶城の「御城印」作成と販売を行い、史跡整備、認知度向上や地域活性化などへの貢献を目指す	累計販売枚数：557枚	B
18. 姉帶城フィールドワーク(共)	期日・場所 10/6 コミュニティセンター・姉帶城跡・ 御所野縄文博物館 内容 姉帶城の歴史などの講話や現地見学	15名	A
19. 企画展開催	期日・場所 10/19~11/24 御所野縄文博物館 内容 世界遺産登録3周年記念企画展 「御所野遺跡を解き明かす」展の開催	1,716名	B
20. 民俗資料等収蔵施設(旧小鳥谷中学校)一般公開	期日・場所 11/10 旧小鳥谷中学校 内容 小鳥谷地区文化祭の開催に合わせ、民俗資料等を収蔵している旧小鳥谷中学校の一般公開	35名	A
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
○ 関係機関との連携した奥州街道ウォークや姉帶城フィールドワークを実施したことにより、一戸町の歴史や文化財に対する興味関心を広げ、魅力発信を行うことができた。			

その他

1. 文化財行政推進体制

事 業 名	実 施 内 容	参加人数	評価
21. 文化財調査専門委員会	期日・場所 7/8 内容 町文化財指定に係る諮問および文化財の調査、保護、活用について協議	委員3名	B
22. 二戸地区文化財調査委員等連絡協議会(共)	期日・場所 ①6/10 理事会 二戸地区合同庁舎 ②7/11 総会 二戸地区合同庁舎 研修会 八幡平市博物館ほか 内容 二戸管内の文化財調査委員の情報交換と専門的な知識・技術の取得・向上を図る	①理事・監事各1名 職員1名 ②委員2名 職員1名	B
23. 二戸地区文化財担当者会議(共)	期日・場所 12/10 九戸村 内容 文化財行政の具体的推進について協議し、事業の効果的推進を図る	職員2名	B
24. 岩手県史跡整備市町村協議会	期日・場所 ①5/24 総会 御所野縄文博物館 ②2/12~13 研修会 平泉町 内容 史跡整備の研究と行政的課題について協議	①職員4名 ②職員1名	B
25. 全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会	期日・場所 7/24、25 総会・研修会 横手市 内容 史跡整備の研究と行政的課題について協議	欠席	—
26. 全国史跡整備市町村協議会	期日・場所 ①10/9~11 総会・エクスカーション 多賀城市 ②11/15 臨時大会 ホテルニューオータニ 内容 史跡整備の研究と行政的課題について協議	①欠席 ②職員1名	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○ 二戸地区文化財調査員等連絡協議会研修会では、参加者である委員同士が交流を深め、身近な文化財を学ぶ機会となった。			
● 文化財調査専門委員会の充実(現状では委員の人数が少ない)。			

令和6年度教育に関する事務の管理、執行の状況の点検及び評価報告書に関する意見

一戸町PTA連合会 会長 仁昌寺 泰夫

令和6年度における教育に関する事務の管理及び執行について、関係者の皆様のご尽力に対して感謝申し上げます。各分野の点検及び評価につきまして僭越ながら意見を申し上げます。

学校教育関連事業は、ほとんどが達成できたというB評価で計画通り事業が遂行されていると思います。課題の中で海外派遣について経費高騰による見直しの必要性の記載がありましたが予算的なものはあまり気にせず多くの生徒に参加してほしいものです。

生涯学習関連事業はB評価からC、D評価まであり特にスポーツ・レクリエーション実践活動の推進関係については課題として記載があるよう見直しが必要だと思います。

地区センター事業はほとんどがAとB評価で地域の高齢化が進む中での事業推進に感謝いたします。

文化芸術・コミュニティセンター関係事業、一戸町立図書館事業、世界遺産事業、文化財関係事業につきましてもほとんどがA、B評価でさらなる事業執行を期待いたします。

今後とも、PTA活動に対し一層のご指導ご支援をよろしくお願い致します。